

2023年度 授業評価アンケート報告書

関西学院大学経営戦略研究科

本報告書の概要

本報告書は、関西学院大学経営戦略研究科において 2023 年度に開講された授業についての学生及び教員による評価アンケートの結果をまとめたものである。2023 年度は5月に新型コロナウイルスの感染症法での位置づけが「5類」に移行し、「コロナ禍」の大きな転換点を迎えたが、本研究科は、「経営戦略研究科開講授業実施方針」とともに、「専門職大学院経営戦略研究科における『メディアを利用して行う授業』に関する内規」に基づき、対面（「ハイフレックス型」を含む）とオンライン（「フルオンライン型」と呼ばれる同時双方向型）で授業の提供を実施した。授業評価アンケートもオンラインで実施した。

授業評価アンケートを実施した授業科目は、2023 年度に開講された 380 講義である。2023 年度の授業評価アンケート調査実施対象授業科目の履修登録者数は 4,822 人（延べ人数、以下同じ）で、実際にアンケート調査を回答した者は 3,097 人であり、アンケート調査の回答率は 64.2%（春学期 65.2%、秋学期 63.2%）であった。回答率に改善の余地があることから、次年度以降も引き続き、学生への周知方法や、授業内時間の活用などについて検討を行う。

学生による評価アンケートは、設問 1 から設問 9 が「教員の授業内容と方法」について、設問 10 と設問 11 が「学生自身の取り組み」について、設問 12 から設問 14 が「授業の満足度」についての質問となっており、いずれの設問も 5 段階評価で回答することとなっている。

今回の学生によるアンケート回答結果からは、学生の授業に対する満足度に関する評価は概ね高い水準を維持していることがわかる。設問 13 の「この授業は全般的に満足のいくものでしたか」のスコアは、通年で 4.58、春学期が 4.54、秋学期が 4.64 であった。設問の中で最も高いスコアだったのは、設問 3 の「教員は、担当科目の授業を行うのに十分な専門知識を持っていましたか」で、秋学期で 4.81、通年で 4.8 となり、3 年連続で高い水準を保っている。つまり、担当教員の授業を行うための専門知識に関して、学生から高く評価されていると考えられる。

他方、以前から継続して見られることであるが、学生自身の取り組みについての問いである設問 10 の「この授業を受けるに当たって十分な予習や復習を行いましたか」、及び設問 11 の「この授業を受けるに当たって自分から文献を探すなどの努力をしましたか」のスコアは、教員の授業内容や方法、授業の満足度についての設問のスコア（設問 1～9、設問 12～14）に比して低い状況が続いている。授業外での課題設定を充実させる工夫が必要となろう。

また、2021 年度から追加されたオンライン授業に関する満足度を評価するための設問（設問 16「この授業はオンラインで受講することに問題はなかった」、設問 17「教員はオンラインでの授業に習熟していた」）のスコアは、前者は対前年比でやや低下した一方、後者は対前年比で上昇した。経営戦略研究科は、2022 年度より本格的に、授業を対面・ハイフレックス（オンライン併用型対面授業）・フルオンラインの 3 形態で実施するとともに、授業実施形態にかかわらず履修者に授業の録画を提供しているが、引き続き授業担当者の機器操作のスキルを向上させるための取り組みの継続や、サポート体制の充実、さらにノウハウを教員間で共有する機会の確保が必要と考えられる。

経営戦略研究科開講科目の授業担当者による担当科目の自己評価（以下、「教員による担当科目自己評価」という。）については、各専攻の特徴を踏まえながら、コア、ベーシック、アドバンスト、課題研

究の4つの科目群に分けて考察した。

まず、企業経営戦略コースでは、グループディスカッション等のアクティブラーニングの導入や実務家をゲストスピーカーとして積極的に招聘する等の特徴が見られた。総じて、「理論と実務の架橋」、つまり授業で学んだ内容を履修者個々人が実務で応用できるようになることを意識して授業を構成していることがうかがえる。

コア科目群では、基本的な理論・フレームワークを習得させることに力点が置かれ、また、その理論やフレームワークを履修者個々人のビジネスに合わせて応用できる能力の形成を重視していることがうかがえた。ベーシック科目群では、経営分野の基礎的な概念や理論への理解を深化させ、それらを体系化できる能力形成に力点を置いた授業もみられる。アドバンスト科目群では、発展的な科目という性質から、高い分析力を要求する科目も見られる。課題研究科目群の「課題研究基礎」では、参考文献の渉猟、先行研究の分析・検討など課題研究論文の作成に向けて基礎となる部分を理解させること、「課題研究」では学生が自らのビジネスにかかわる課題や解決すべき社会的問題をテーマに設定して、科学的にアプローチして論理的・実証的に論文にまとめることができるように指導するなど、企業経営戦略コースの意図する内容となっていることが確認できた。

「力を入れた点」と「実施して良かった点」は同じ回答内容となるものもあるが、2019年度までの紙媒体での調査から Web 上での調査に変わり、自由記述回答への記述量が大幅に改善されているため、これらの設問への回答の相違点についての分析が今後は進んでいくものと考えられる。

国際経営コースでは、教員による担当科目自己評価と、学生の評価の間にギャップがあることは否定できない。その原因は明確ではないが、ギャップがあることを認識したうえで、そのギャップを埋めていくための教員の取り組みに関して個別に検討する必要があると思われる。

会計専門職専攻では、例年細かな達成度合いについて数量的な把握を行っている。詳細は6. を参照されたい。その中で学生の会計に関する予備知識についての不足が指摘されており、対応策が必要とされるだろう。

1. 授業評価の目的

大学・大学院において第三者評価が義務づけられ、専門職大学院を置く大学は、当該専門職大学院の教育課程、教員組織等その他教育研究活動の状況について、文部科学大臣が認証した評価機関により、5年以内ごとに認証評価を受けることが義務づけられている。その目的は、教育研究等について自己点検・評価し、質の保証を行うとともに、継続的に改善・向上に取り組むためである。また、経営戦略研究科は、教員の資質維持向上の方策のひとつとして、「授業内容及び方法の改善を図るための組織的な研修等の実施」に取り組んでいる。

本研究科では、授業内容及び授業方法の改善を図るため、原則としてクォーターごとに、学生による授業に関するアンケートと教員による担当科目自己評価を実施する。授業評価の目的は、本研究科学生の実態や現状、学生の授業に対する認識・反応などをアンケートから探り、その結果を分析することによって、教育の現場に反映させる基礎資料を作成し、ビジネススクール及びアカウンティングスクールの教育の質的向上を図るとともに、ビジネススクール及びアカウンティングスクール固有の教学上の諸課題を把握し、解明することにある。

学生によるアンケートと並行して行う教員による担当科目自己評価では、各教員は、学生の授業評価の結果を見ない段階で授業を振り返ってオンラインでアンケートの記入を行っている。このため、学生

アンケートの集計結果が各教員にフィードバックされた際に、学生の評価と教員自身が作成した評価を対照することで「より良い授業へ」のヒントが得られる仕組みとなっている。

2. 本報告書の構成と作成主体

本報告書の構成は、2023年度授業評価アンケート結果概要・分析、授業評価アンケート実施科目一覧、授業評価アンケートフォーム、授業別評定平均値一覧、集計結果表（全体・履修人数・専攻・コース・科目別）、教員による担当科目自己評価及びグループ・インタビュー調査結果からなっている。

授業評価に関する調査の企画、調査票の作成、及び集計結果についての分析と本報告書の執筆については、本研究科に設置された「経営戦略研究科内部質保証委員会」のメンバーを中心として行われた。

調査の実施の方法等についての詳細は、「3. 調査実施方法及び期間等」のとおりである。アンケート実施に当たって、貴重な授業時間を割いていただいた各教員に感謝申し上げます。また、実際に回答を寄せていただいた学生諸君に深く謝意を表する。

3. 調査実施方法及び期間等

授業内容については、春学期（第1クォーター、第2クォーター、夏季集中）・秋学期（秋季集中、第3クォーター、第4クォーター、冬季集中）の授業終了時に受講生による授業評価を実施している。本報告の対象となる授業評価アンケートの実施方法や実施期間等については、以下のとおりである。

（1）実施対象授業科目について

2023年度に開講されたすべての授業科目を対象に授業評価アンケートを実施した。複数クラス開講分を含む実施数は、380講義（春学期184講義、秋学期196講義）である。その内訳は、経営戦略専攻が247講義（企業経営戦略コース167講義、国際経営コース80講義）、会計専門職専攻が133講義である。

（2）回答者、回答率等について

2023年度の授業評価アンケート調査実施対象授業科目の履修登録者数は4,822人（延べ人数、以下同じ）で、そのうち、春学期が2,464人、秋学期が2,358人であった。また、実際にアンケート調査を回答した者は3,097人（春学期1,606人、秋学期1,491人）であり、アンケート調査の回答率は64.2%（春学期65.2%、秋学期63.2%）であった。各専攻別の内訳は次のとおりである。

経営戦略専攻の授業科目の履修登録者数は2,997人（企業経営戦略コース2,316人、及び国際経営コース681人）で、そのうち、春学期は1,489人（企業経営戦略コース1,148人、及び国際経営コース341人）、秋学期は1,508人（企業経営戦略コース1,168人、及び国際経営コース340人）であった。アンケート調査の回答者数については、1,921人（企業経営戦略コース1,522人、及び国際経営コース399人）であった。そのうち、春学期は975人（企業経営戦略コース773人、及び国際経営コース202人）、秋学期は946人（企業経営戦略コース749人、及び国際経営コース197人）であった。回答率は64.1%（企業経営戦略コース65.7%、及び国際経営コース58.6%）である。そのうち、春学期は65.5%（企業経営戦略コース67.3%、及び国際経営コース59.2%）、秋学期は62.7%（企業経営戦略コース64.1%、及び国際経営コース57.9%）であった。

また、会計専門職専攻の授業科目の履修登録者数は1,825人（春学期975人、秋学期850人）で、アンケート調査の回答者数は1,176人（春学期631人、秋学期545人）あり、その回答率は64.4%（春学

期 64.7%、秋学期 64.1%) であった。

研究科全体で概ね9割前後で推移してきた授業評価アンケートの回答率は、2020年度以降は低下する傾向にある。これは、授業時間内に教室でマークシートの調査票を受講生に配付して回答する方法だったものが、新型コロナウイルスの感染拡大により授業実施形態がオンラインに切り替わったことに伴い、授業時間外にも学生がオンラインで授業評価アンケートに回答できるように実施方法を変更したことが要因の一つとして考えられる。回答率低下の改善を図るために、2023年度より、教員による担当科目自己評価において、授業評価アンケートの実施時期を教員に尋ねる設問（設問10「授業評価アンケートを授業中に学生に回答させましたか」）を追加し、授業評価アンケートの実施時期による回答率の違いを検証した。

表3-1：教員による担当科目自己評価【設問10】の集計結果

ア 企業経営戦略コース

	履修者数	回答者数	回答率
「はい」（授業中に回答させた）と回答した科目	840	602	72%
「いいえ」（授業中に回答させなかった）と回答した科目	1021	571	56%
未回答・回答不明の科目	455	349	77%
この専攻・コースの全科目	2316	1522	66%

「設問10で はいYes」の回答率72%と、「設問10で いいえNo」の回答率56%に、統計的な有意差があるか検証した。比率の差の検定の結果、p値は0.000であったので、有意に差がある。

イ 国際経営コース

	履修者数	回答者数	回答率
「はい」（授業中に回答させた）と回答した科目	506	297	59%
「いいえ」（授業中に回答させなかった）と回答した科目	98	53	54%
未回答・回答不明の科目	77	49	64%
この専攻・コースの全科目	681	399	59%

「設問10で はいYes」の回答率59%と、「設問10で いいえNo」の回答率54%に、統計的な有意差があるか検証した。比率の差の検定の結果、p値は0.199であったので、有意に差があるとはいえない。

ウ 会計専門職専攻

	履修者数	回答者数	回答率
「はい」（授業中に回答させた）と回答した科目	975	696	71%
「いいえ」（授業中に回答させなかった）と回答した科目	598	324	54%
未回答・回答不明の科目	252	156	62%
この専攻・コースの全科目	1825	1176	64%

「設問10で はいYes」の回答率71%と、「設問10で いいえNo」の回答率54%に、統計的な有意差があるか検証した。比率の差の検定の結果、p値は0.000であったので、有意に差がある。

分析にあたっては、授業科目ごとの履修者数・回答者数データと、教員による担当科目自己評価の回答データをマッチングさせて集計した。なおマッチングは手作業で行ったため、必ずしもすべての授業

科目でデータのマッチングが出来たわけではない。また、【設問 10】への回答がなかった科目は、未回答・回答不明の科目として集計している。

このような制約はあるものの、企業経営戦略コースと会計専門職専攻において、授業中にアンケートを実施することは、回答率の改善に効果的であるとの結果が得られた。国際経営コースでは授業中に回答させることでの改善がさほどみられないが、これはもしかしたら日本人学生と外国人留学生とで回答率が異なるからかもしれない。

(3) 実施期間について

学生による授業評価アンケートは、以下の期間にオンラインで実施した。

第1クォーター開講科目	:	2023年 5月21日 (月) ~ 6月10日 (土)
第2クォーター開講科目	:	2023年 7月16日 (日) ~ 8月 5日 (土)
夏季集中講義期間開講科目	:	2023年 7月30日 (日) ~ 8月19日 (土)
秋季集中講義期間開講科目	:	2023年 9月23日 (土) ~ 10月11日 (水)
第3クォーター開講科目	:	2023年11月16日 (木) ~ 12月 6日 (水)
第4クォーター開講科目	:	2024年 1月25日 (木) ~ 2月14日 (水)
冬季集中講義開講科目	:	2024年 2月 8日 (木) ~ 3月 6日 (水)

(4) アンケートの実施について

2023 年度の学生による授業評価アンケートは、質問項目数 17 (各質問につき最高ポイントを5とした5段階評価) で実施した。アンケートは、経営戦略研究科事務室から「授業に関するアンケート」のオンライン回答フォームの URL を、(3) の各期間に先立ち全履修者宛にメールにて送付し、履修者は上記の実施期間中にオンラインで回答した。このとき、履修者が忌憚なく回答できるように、授業担当者は、当該アンケートそのものは閲覧せず、後日事務室より送付の統計データを閲覧するようにした。

学生による授業評価アンケートと並行して行った教員による担当科目自己評価については、事前に経営戦略研究科事務室より電子メールにて回答用フォームの URL を各授業担当者に配付し、教員は該科目の成績報告書提出締切日までにオンライン上で回答した。教員による担当科目自己評価は、選択形式の 10 の設問と自由記述形式の 2 つの設問からなっている。

(5) 集計

2023 年度の授業評価アンケートについては、各授業科目・クラスごとに集計を行った。この「授業評価アンケート集計結果」は、各授業クラスの履修登録者数、回答者数 (学年別、所属専攻別、出身学部別の回答者数)、各設問の有効回答数、有効回答数の平均値及び専攻平均値が示される。このうち、各設問の有効回答数の平均値と専攻平均値については、グラフによって視覚的にも明示している。

学生による授業評価アンケートには、自由記述に関する設問が 3 問ある (「この授業で良かったところを具体的に書いてください」、「この授業で変えてほしいところがあれば、具体的に書いてください」及び「この授業に関して気づいたことがあれば書いてください」)。この自由記述の回答内容については、授業内容及び方法の改善のための資料に資する目的から、当初より、公表対象とせず、当該授業担当者 のみに配付している。

4. 経営戦略専攻企業経営戦略コース

A. 学生による授業評価アンケート

(1) 概観

ここでは、2023年度の授業評価アンケートの結果を、全科目群、コア科目群、ベーシック科目群、アドバンスト科目群ごとに、同じ調査票が使用されている2009年度以降の結果と比較して分析する。表4-1から表4-4は、全科目群、コア科目群、ベーシック科目群、アドバンスト科目群ごとに、回答の平均値（小数点第3位で四捨五入）を、春学期、秋学期、通年別に示したものである（年度の一番下にある「平均」は2009年度から2023年度の数字を平均したものである）。なお、2021年度からは、オンライン授業を評価するための設問（設問16「この授業はオンラインで受講することに問題はなかった」、設問17「教員はオンラインでの授業に習熟していた」）が追加されている。

2023年度の全科目群（表4-1）の評価であるが、設問1から設問14に関しては、春学期、通年のそれぞれで、全ての質問について低下した。秋学期については、設問8と設問11が変化無し、設問9のみ上昇した。また、質問13の「この授業は全般的に満足のいくものでしたか。」の通年のスコアは、4.46（前年度：4.60）となり、最も高い数字だった2022年度と比べ大きくスコアが下がった。この質問13に関しては、コア、ベーシック、アドバンストの科目群ごとの通年で見ても、コア科目群（表4-2）が4.21（前年度：4.46）、ベーシック科目群（表4-3）が4.47（前年度：4.63）、アドバンスト科目群（表4-4）が4.55（前年度：4.63）で、すべて前年度を下回っている。2022年度より、対面授業が再開され、ハイフレックス（対面とオンラインの学生が同時に受講する）で行われる授業が多くなった。ハイフレックス授業において、学生は対面とオンラインのどちらかを自身が選択することができる。このことが、2022年度の高い数字につながった可能性がある。2023年度は、それ以前の数値に戻りつつある。

他方、オンライン授業に関する問いである設問16の「この授業はオンラインで受講することに問題はなかった」と設問17「教員はオンラインでの授業に習熟していた」に関しては、全科目群の通年で、設問16が4.41（前年度：4.45）とわずかではあるが前年度を下回った一方、設問17が4.45（前年度：4.38）と、前年度を上回った。通年のコア科目群、ベーシック科目群、アドバンスト科目群のそれぞれの通年で見ると、コア科目群では、設問16が4.41（前年度：4.52）、設問17が4.34（前年度：4.38）、ベーシック科目群は、設問16が4.48（前年度：4.35）、設問17が4.54（前年度：4.37）、アドバンスト科目群では、設問16が4.36（前年度：4.47）、設問17が4.44（前年度4.39）であった。コア科目群では前年度を両設問ともに下回り、アドバンスト科目群では設問16が前年度を下回り、設問17がわずかではあるが前年度を上回った一方、ベーシック科目群では、前年度を上回っている。スコア自体は、依然として高いレベルを維持しているため、大きな問題があったものとは思われないが、2024年度には、評価が低下した科目群の評価が回復するように一層の努力が求められる。

表4-1：全科目群（回答の平均値）

春学期

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.51	4.58	4.67	4.31	4.35	4.14	4.18	4.13	4.49	3.97	3.91	4.10	4.33	4.19	—	—
2010	4.59	4.59	4.73	4.45	4.48	4.23	4.27	4.28	4.57	4.03	3.88	4.15	4.39	4.24	—	—
2011	4.54	4.59	4.73	4.36	4.51	4.15	4.12	4.17	4.51	4.04	3.88	4.07	4.32	4.26	—	—
2012	4.38	4.47	4.67	4.30	4.42	4.10	4.19	4.12	4.47	3.97	3.73	4.01	4.23	4.32	—	—
2013	4.55	4.57	4.71	4.36	4.45	4.13	4.19	4.14	4.50	3.99	3.83	4.08	4.31	4.39	—	—
2014	4.57	4.57	4.74	4.42	4.48	4.23	4.32	4.22	4.57	4.06	3.87	4.13	4.40	4.46	—	—
2015	4.59	4.62	4.74	4.46	4.54	4.29	4.35	4.32	4.60	4.02	3.86	4.16	4.44	4.51	—	—
2016	4.55	4.63	4.73	4.41	4.47	4.23	4.33	4.22	4.53	4.03	3.82	4.16	4.39	4.46	—	—
2017	4.60	4.61	4.76	4.42	4.48	4.19	4.31	4.18	4.57	4.02	3.88	4.12	4.37	4.46	—	—
2018	4.65	4.69	4.78	4.50	4.55	4.35	4.36	4.41	4.65	4.10	4.17	4.26	4.49	4.56	—	—
2019	4.62	4.69	4.82	4.55	4.60	4.40	4.44	4.41	4.67	4.18	4.24	4.31	4.54	4.60	—	—
2020	4.52	4.60	4.78	4.45	4.39	4.03	4.30	4.24	4.48	4.19	4.27	4.21	4.36	4.50	—	—
2021	4.67	4.74	4.82	4.61	4.66	4.30	4.50	4.40	4.74	4.40	4.36	4.31	4.49	4.58	4.52	4.51
2022	4.71	4.77	4.86	4.67	4.71	4.43	4.53	4.45	4.78	4.46	4.43	4.43	4.63	4.67	4.48	4.38
2023	4.59	4.63	4.74	4.53	4.63	4.27	4.32	4.34	4.63	4.37	4.35	4.21	4.40	4.48	4.32	4.39
平均	4.58	4.62	4.75	4.45	4.51	4.23	4.31	4.27	4.58	4.12	4.03	4.18	4.41	4.45	4.44	4.43

秋学期

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.58	4.57	4.71	4.43	4.39	4.20	4.28	4.32	4.54	4.03	4.01	4.15	4.39	4.30	—	—
2010	4.66	4.64	4.71	4.51	4.52	4.30	4.38	4.34	4.58	4.14	4.04	4.24	4.40	4.34	—	—
2011	4.56	4.58	4.71	4.42	4.46	4.27	4.27	4.27	4.59	4.00	3.92	4.17	4.40	4.27	—	—
2012	4.50	4.58	4.68	4.38	4.43	4.16	4.21	4.22	4.49	4.02	3.87	4.06	4.27	4.35	—	—
2013	4.46	4.49	4.61	4.31	4.37	4.12	4.21	4.16	4.49	4.00	3.94	4.04	4.26	4.32	—	—
2014	4.61	4.63	4.74	4.49	4.54	4.33	4.37	4.29	4.60	4.13	4.00	4.20	4.43	4.52	—	—
2015	4.62	4.66	4.75	4.49	4.57	4.37	4.38	4.36	4.64	4.08	3.98	4.25	4.46	4.50	—	—
2016	4.63	4.67	4.80	4.51	4.46	4.28	4.36	4.28	4.59	4.02	3.88	4.18	4.49	4.54	—	—
2017	4.66	4.72	4.82	4.53	4.53	4.37	4.36	4.33	4.64	4.09	3.97	4.25	4.51	4.57	—	—
2018	4.74	4.74	4.81	4.63	4.70	4.54	4.51	4.50	4.74	4.29	4.30	4.41	4.63	4.67	—	—
2019	4.63	4.67	4.80	4.52	4.56	4.40	4.43	4.41	4.65	4.23	4.20	4.34	4.53	4.59	—	—
2020	4.62	4.66	4.80	4.55	4.54	4.25	4.35	4.38	4.63	4.35	4.30	4.28	4.46	4.57	—	—
2021	4.69	4.70	4.79	4.57	4.61	4.38	4.46	4.41	4.70	4.33	4.29	4.29	4.51	4.58	4.55	4.51
2022	4.71	4.74	4.84	4.60	4.69	4.48	4.48	4.45	4.72	4.47	4.40	4.41	4.57	4.65	4.41	4.39
2023	4.62	4.71	4.79	4.58	4.63	4.42	4.46	4.45	4.74	4.46	4.40	4.31	4.53	4.56	4.49	4.51
平均	4.62	4.65	4.76	4.50	4.53	4.32	4.37	4.35	4.62	4.18	4.10	4.24	4.46	4.49	4.48	4.47

通年

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.54	4.57	4.69	4.37	4.37	4.17	4.23	4.22	4.51	4.00	3.95	4.12	4.36	4.25	—	—
2010	4.62	4.61	4.72	4.48	4.49	4.26	4.32	4.31	4.58	4.08	3.95	4.19	4.40	4.29	—	—
2011	4.55	4.58	4.72	4.38	4.49	4.20	4.19	4.22	4.55	4.03	3.90	4.12	4.36	4.27	—	—
2012	4.44	4.52	4.68	4.34	4.42	4.13	4.20	4.17	4.48	4.00	3.80	4.03	4.25	4.34	—	—
2013	4.51	4.53	4.66	4.34	4.41	4.13	4.19	4.15	4.50	4.00	3.88	4.06	4.29	4.36	—	—
2014	4.59	4.60	4.74	4.45	4.51	4.28	4.34	4.26	4.58	4.09	3.92	4.16	4.41	4.49	—	—
2015	4.60	4.63	4.74	4.48	4.55	4.33	4.37	4.34	4.62	4.05	3.91	4.20	4.45	4.50	—	—
2016	4.59	4.65	4.77	4.46	4.46	4.26	4.34	4.25	4.56	4.02	3.85	4.17	4.44	4.50	—	—
2017	4.63	4.66	4.79	4.47	4.50	4.28	4.33	4.25	4.60	4.05	3.92	4.18	4.43	4.51	—	—
2018	4.69	4.72	4.79	4.57	4.62	4.45	4.44	4.46	4.69	4.20	4.23	4.34	4.56	4.62	—	—
2019	4.63	4.68	4.81	4.53	4.58	4.40	4.44	4.41	4.66	4.20	4.22	4.32	4.53	4.60	—	—
2020	4.57	4.63	4.79	4.50	4.47	4.14	4.32	4.30	4.55	4.27	4.28	4.24	4.41	4.53	—	—
2021	4.68	4.72	4.80	4.59	4.63	4.34	4.48	4.41	4.72	4.37	4.33	4.30	4.50	4.58	4.54	4.51
2022	4.71	4.76	4.86	4.64	4.70	4.46	4.51	4.45	4.75	4.46	4.42	4.42	4.60	4.66	4.45	4.38
2023	4.60	4.67	4.76	4.55	4.63	4.34	4.39	4.39	4.68	4.41	4.38	4.26	4.46	4.52	4.41	4.45
平均	4.60	4.63	4.75	4.48	4.52	4.28	4.34	4.31	4.60	4.15	4.06	4.21	4.43	4.47	4.46	4.45

表４－２：コア科目群（回答の平均値）

春学期

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.40	4.48	4.69	4.15	4.17	3.98	4.06	3.92	4.43	3.84	3.78	3.89	4.16	4.03	—	—
2010	4.46	4.42	4.59	4.39	4.18	3.96	4.10	3.92	4.39	3.93	3.79	3.86	4.10	3.98	—	—
2011	4.41	4.39	4.64	4.10	4.07	3.72	3.86	3.73	4.24	3.85	3.50	3.56	3.85	3.90	—	—
2012	4.01	4.12	4.47	3.87	4.06	3.57	3.78	3.69	4.19	3.71	3.32	3.47	3.63	3.80	—	—
2013	4.50	4.45	4.71	4.29	4.32	3.87	3.97	3.98	4.37	3.90	3.62	3.93	4.16	4.27	—	—
2014	4.49	4.52	4.80	4.44	4.32	4.11	4.20	4.10	4.50	4.04	3.66	4.00	4.30	4.40	—	—
2015	4.48	4.46	4.75	4.28	4.39	4.03	4.20	4.15	4.43	3.76	3.55	3.86	4.25	4.36	—	—
2016	4.43	4.57	4.70	4.29	4.27	4.15	4.25	4.07	4.37	3.92	3.63	4.01	4.23	4.33	—	—
2017	4.52	4.51	4.79	4.37	4.39	4.09	4.28	4.11	4.44	3.86	3.56	3.92	4.27	4.38	—	—
2018	4.52	4.60	4.81	4.42	4.41	4.16	4.17	4.21	4.58	4.08	4.00	4.05	4.32	4.42	—	—
2019	4.54	4.58	4.77	4.47	4.46	4.26	4.25	4.24	4.55	4.08	4.11	4.11	4.38	4.51	—	—
2020	4.53	4.58	4.81	4.51	4.30	3.90	4.31	4.15	4.37	4.15	4.24	4.09	4.24	4.45	—	—
2021	4.56	4.63	4.73	4.53	4.54	4.04	4.40	4.19	4.66	4.23	4.26	4.12	4.27	4.41	4.46	4.23
2022	4.62	4.63	4.77	4.58	4.55	4.18	4.37	4.29	4.68	4.31	4.31	4.19	4.48	4.55	4.51	4.26
2023	4.51	4.60	4.68	4.43	4.55	4.09	4.26	4.22	4.53	4.22	4.15	3.93	4.14	4.21	4.29	4.35
平均	4.47	4.50	4.71	4.34	4.33	4.01	4.16	4.06	4.45	3.99	3.83	3.93	4.19	4.27	4.42	4.28

秋学期

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.55	4.48	4.69	4.38	4.03	3.82	4.03	4.13	4.39	3.95	3.86	3.86	4.16	4.03	—	—
2010	4.72	4.68	4.78	4.52	4.25	4.10	4.35	4.34	4.57	4.20	3.96	4.10	4.29	4.15	—	—
2011	4.49	4.41	4.64	4.38	4.15	4.03	4.09	4.07	4.46	4.01	3.90	3.99	4.19	4.08	—	—
2012	4.08	4.13	4.35	3.78	3.84	3.59	3.84	3.82	4.08	3.66	3.38	3.57	3.65	3.80	—	—
2013	4.27	4.24	4.53	4.15	4.17	3.99	4.22	4.19	4.28	3.89	3.72	3.96	4.10	4.23	—	—
2014	4.50	4.55	4.75	4.40	4.29	4.14	4.24	4.15	4.49	4.03	3.72	3.97	4.21	4.33	—	—
2015	4.50	4.53	4.76	4.31	4.39	4.17	4.33	4.30	4.51	3.94	3.64	4.06	4.28	4.33	—	—
2016	4.39	4.47	4.73	4.32	4.01	4.02	4.23	4.22	4.24	3.74	3.58	3.90	4.25	4.27	—	—
2017	4.48	4.56	4.76	4.42	4.23	4.11	4.19	4.25	4.40	3.88	3.60	3.98	4.29	4.36	—	—
2018	4.68	4.73	4.84	4.52	4.48	4.47	4.44	4.51	4.63	4.01	4.12	4.20	4.56	4.57	—	—
2019	4.45	4.56	4.77	4.36	4.26	4.19	4.25	4.20	4.41	3.88	3.99	4.02	4.26	4.38	—	—
2020	4.38	4.51	4.70	4.38	4.31	3.90	4.11	4.14	4.39	4.05	4.06	3.78	4.05	4.23	—	—
2021	4.69	4.67	4.80	4.55	4.54	4.26	4.40	4.37	4.65	4.21	4.19	4.09	4.37	4.40	4.58	4.52
2022	4.57	4.68	4.84	4.54	4.63	4.38	4.54	4.45	4.61	4.33	4.29	4.27	4.41	4.51	4.55	4.64
2023	4.48	4.64	4.85	4.47	4.44	4.28	4.26	4.27	4.65	4.13	4.18	3.93	4.29	4.31	4.55	4.33
平均	4.48	4.52	4.72	4.37	4.27	4.10	4.23	4.23	4.45	3.99	3.88	3.98	4.22	4.27	4.56	4.49

通年

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.45	4.48	4.69	4.24	4.12	3.92	4.05	4.00	4.42	3.89	3.81	3.88	4.16	4.03	—	—
2010	4.58	4.54	4.68	4.45	4.21	4.03	4.21	4.11	4.47	4.05	3.87	3.97	4.19	4.06	—	—
2011	4.45	4.40	4.64	4.25	4.11	3.89	3.98	3.91	4.36	3.94	3.71	3.79	4.03	4.00	—	—
2012	4.04	4.12	4.42	3.83	3.98	3.58	3.81	3.74	4.15	3.69	3.34	3.51	3.64	3.80	—	—
2013	4.43	4.39	4.66	4.25	4.27	3.91	4.05	4.05	4.35	3.89	3.65	3.94	4.14	4.26	—	—
2014	4.50	4.53	4.78	4.42	4.31	4.12	4.22	4.12	4.49	4.04	3.69	3.99	4.26	4.37	—	—
2015	4.49	4.49	4.76	4.29	4.39	4.09	4.25	4.21	4.46	3.83	3.59	3.94	4.26	4.35	—	—
2016	4.41	4.51	4.71	4.31	4.14	4.08	4.24	4.15	4.30	3.83	3.60	3.95	4.24	4.30	—	—
2017	4.50	4.54	4.77	4.40	4.30	4.10	4.23	4.18	4.42	3.87	3.58	3.95	4.28	4.37	—	—
2018	4.58	4.65	4.82	4.46	4.44	4.28	4.28	4.33	4.60	4.05	4.05	4.11	4.42	4.48	—	—
2019	4.49	4.57	4.77	4.42	4.36	4.23	4.25	4.22	4.48	3.98	4.05	4.07	4.32	4.44	—	—
2020	4.47	4.55	4.77	4.46	4.31	3.90	4.22	4.15	4.38	4.11	4.17	3.96	4.16	4.36	—	—
2021	4.61	4.65	4.76	4.54	4.54	4.13	4.40	4.27	4.66	4.22	4.23	4.10	4.31	4.41	4.51	4.36
2022	4.60	4.65	4.79	4.56	4.58	4.24	4.42	4.35	4.66	4.32	4.30	4.21	4.46	4.54	4.52	4.38
2023	4.50	4.62	4.76	4.45	4.50	4.18	4.26	4.24	4.59	4.18	4.17	3.93	4.21	4.26	4.41	4.34
平均	4.47	4.51	4.72	4.36	4.30	4.05	4.19	4.14	4.45	3.99	3.85	3.95	4.21	4.27	4.48	4.36

表４－３：ベーシック科目群（回答の平均値）

春学期

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.49	4.53	4.57	4.25	4.30	4.05	4.11	4.06	4.39	3.97	3.85	4.05	4.28	4.18	—	—
2010	4.61	4.60	4.78	4.45	4.54	4.22	4.23	4.28	4.60	4.04	3.82	4.17	4.41	4.21	—	—
2011	4.53	4.63	4.75	4.38	4.57	4.15	4.00	4.18	4.51	4.01	3.76	4.06	4.36	4.31	—	—
2012	4.38	4.55	4.72	4.38	4.47	4.16	4.18	4.16	4.45	3.98	3.65	4.08	4.32	4.41	—	—
2013	4.59	4.65	4.75	4.37	4.55	4.18	4.15	4.16	4.52	3.98	3.64	4.05	4.30	4.39	—	—
2014	4.55	4.51	4.68	4.31	4.47	4.10	4.27	4.12	4.49	3.99	3.73	4.00	4.30	4.37	—	—
2015	4.70	4.75	4.79	4.61	4.66	4.32	4.43	4.37	4.65	4.13	3.93	4.27	4.51	4.61	—	—
2016	4.53	4.62	4.71	4.40	4.54	4.18	4.34	4.22	4.54	3.98	3.76	4.12	4.40	4.47	—	—
2017	4.55	4.57	4.78	4.38	4.48	4.09	4.16	4.10	4.54	4.04	3.82	4.00	4.22	4.32	—	—
2018	4.63	4.71	4.82	4.50	4.57	4.29	4.24	4.31	4.61	4.14	4.15	4.20	4.44	4.54	—	—
2019	4.62	4.68	4.81	4.53	4.62	4.29	4.41	4.39	4.65	4.22	4.28	4.26	4.50	4.49	—	—
2020	4.57	4.69	4.83	4.49	4.48	4.00	4.28	4.21	4.57	4.35	4.35	4.32	4.41	4.57	—	—
2021	4.63	4.74	4.84	4.61	4.66	4.28	4.41	4.33	4.74	4.42	4.40	4.36	4.47	4.56	4.52	4.63
2022	4.72	4.83	4.91	4.73	4.73	4.44	4.51	4.37	4.81	4.53	4.51	4.53	4.65	4.71	4.37	4.47
2023	4.54	4.58	4.73	4.49	4.65	4.16	4.23	4.30	4.62	4.42	4.44	4.25	4.41	4.54	4.39	4.51
平均	4.58	4.64	4.76	4.46	4.55	4.19	4.26	4.24	4.58	4.15	4.01	4.18	4.40	4.44	4.43	4.53

秋学期

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.60	4.54	4.67	4.39	4.27	4.10	4.19	4.22	4.38	3.99	3.83	4.10	4.33	4.27	—	—
2010	4.65	4.67	4.75	4.50	4.53	4.29	4.32	4.29	4.51	4.04	3.79	4.27	4.41	4.35	—	—
2011	4.50	4.59	4.73	4.38	4.57	4.21	4.22	4.27	4.60	3.90	3.73	4.18	4.34	4.23	—	—
2012	4.61	4.67	4.77	4.52	4.46	4.23	4.24	4.24	4.51	4.11	3.81	4.15	4.35	4.48	—	—
2013	4.39	4.38	4.57	4.18	4.17	3.92	4.03	3.92	4.37	3.85	3.73	3.83	4.10	4.18	—	—
2014	4.57	4.57	4.68	4.41	4.52	4.29	4.28	4.26	4.54	4.05	3.90	4.16	4.36	4.43	—	—
2015	4.69	4.64	4.75	4.53	4.53	4.31	4.29	4.37	4.61	4.02	3.80	4.16	4.45	4.47	—	—
2016	4.64	4.73	4.81	4.55	4.58	4.37	4.39	4.38	4.66	4.00	3.75	4.23	4.53	4.55	—	—
2017	4.65	4.73	4.78	4.52	4.49	4.29	4.35	4.26	4.63	4.04	3.92	4.16	4.39	4.47	—	—
2018	4.73	4.75	4.85	4.66	4.76	4.50	4.56	4.50	4.75	4.33	4.30	4.42	4.62	4.68	—	—
2019	4.63	4.65	4.76	4.50	4.52	4.32	4.38	4.35	4.59	4.22	4.06	4.30	4.45	4.53	—	—
2020	4.73	4.76	4.89	4.66	4.61	4.27	4.47	4.48	4.72	4.35	4.38	4.41	4.51	4.64	—	—
2021	4.80	4.75	4.82	4.67	4.64	4.34	4.54	4.48	4.73	4.39	4.34	4.32	4.57	4.65	4.69	4.65
2022	4.74	4.79	4.88	4.69	4.63	4.45	4.51	4.52	4.69	4.52	4.35	4.39	4.60	4.68	4.30	4.22
2023	4.69	4.76	4.78	4.62	4.60	4.34	4.58	4.51	4.69	4.49	4.49	4.29	4.55	4.57	4.62	4.59
平均	4.64	4.67	4.77	4.52	4.53	4.28	4.36	4.34	4.60	4.15	4.01	4.22	4.44	4.48	4.54	4.49

通年

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.54	4.54	4.61	4.31	4.29	4.07	4.14	4.13	4.39	3.97	3.84	4.07	4.30	4.21	—	—
2010	4.63	4.63	4.77	4.47	4.54	4.24	4.26	4.28	4.57	4.04	3.81	4.20	4.41	4.26	—	—
2011	4.52	4.61	4.74	4.38	4.57	4.17	4.07	4.21	4.54	3.97	3.75	4.10	4.35	4.28	—	—
2012	4.48	4.60	4.74	4.44	4.47	4.19	4.21	4.19	4.48	4.04	3.72	4.11	4.33	4.44	—	—
2013	4.50	4.52	4.66	4.28	4.37	4.05	4.09	4.05	4.45	3.92	3.69	3.94	4.21	4.29	—	—
2014	4.56	4.54	4.68	4.36	4.50	4.20	4.27	4.20	4.52	4.02	3.82	4.08	4.33	4.40	—	—
2015	4.69	4.70	4.78	4.57	4.60	4.31	4.37	4.37	4.63	4.08	3.87	4.22	4.48	4.54	—	—
2016	4.59	4.68	4.76	4.48	4.56	4.28	4.36	4.30	4.60	3.99	3.75	4.17	4.46	4.51	—	—
2017	4.60	4.65	4.78	4.45	4.48	4.19	4.26	4.18	4.58	4.04	3.87	4.08	4.30	4.40	—	—
2018	4.68	4.73	4.83	4.58	4.67	4.40	4.41	4.41	4.68	4.25	4.23	4.31	4.54	4.61	—	—
2019	4.62	4.66	4.78	4.51	4.57	4.31	4.39	4.37	4.62	4.22	4.17	4.28	4.48	4.51	—	—
2020	4.64	4.73	4.86	4.57	4.54	4.13	4.37	4.33	4.64	4.35	4.37	4.36	4.46	4.60	—	—
2021	4.71	4.75	4.83	4.64	4.65	4.31	4.47	4.40	4.73	4.41	4.37	4.34	4.52	4.60	4.60	4.64
2022	4.73	4.82	4.90	4.71	4.70	4.44	4.51	4.43	4.76	4.53	4.45	4.48	4.63	4.70	4.35	4.37
2023	4.60	4.65	4.75	4.54	4.63	4.23	4.36	4.38	4.65	4.45	4.46	4.27	4.47	4.55	4.48	4.54
平均	4.61	4.65	4.76	4.49	4.54	4.24	4.30	4.28	4.59	4.15	4.01	4.20	4.42	4.46	4.48	4.52

表４－４：アドバンスト科目群（回答の平均値）

春学期

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.62	4.71	4.77	4.51	4.56	4.39	4.37	4.39	4.65	4.07	4.07	4.32	4.53	4.35	—	—
2010	4.64	4.67	4.74	4.48	4.56	4.39	4.42	4.48	4.64	4.07	4.01	4.27	4.54	4.42	—	—
2011	4.61	4.63	4.75	4.46	4.64	4.34	4.36	4.36	4.63	4.16	4.17	4.31	4.50	4.38	—	—
2012	4.60	4.63	4.77	4.51	4.60	4.39	4.45	4.35	4.67	4.12	4.07	4.28	4.52	4.58	—	—
2013	4.55	4.57	4.68	4.41	4.46	4.27	4.35	4.24	4.57	4.07	4.10	4.21	4.43	4.48	—	—
2014	4.60	4.62	4.74	4.46	4.56	4.35	4.40	4.33	4.65	4.11	4.02	4.25	4.49	4.54	—	—
2015	4.58	4.63	4.71	4.48	4.55	4.41	4.39	4.38	4.66	4.09	3.97	4.26	4.51	4.54	—	—
2016	4.60	4.66	4.76	4.45	4.50	4.28	4.35	4.28	4.59	4.10	3.92	4.23	4.44	4.51	—	—
2017	4.64	4.65	4.74	4.45	4.50	4.26	4.37	4.23	4.62	4.06	4.00	4.22	4.45	4.54	—	—
2018	4.71	4.72	4.76	4.54	4.59	4.46	4.49	4.53	4.69	4.09	4.25	4.37	4.57	4.63	—	—
2019	4.66	4.73	4.84	4.58	4.64	4.50	4.52	4.47	4.72	4.19	4.27	4.39	4.62	4.68	—	—
2020	4.49	4.55	4.73	4.39	4.36	4.11	4.32	4.29	4.48	4.10	4.22	4.19	4.38	4.48	—	—
2021	4.75	4.79	4.84	4.65	4.71	4.45	4.60	4.56	4.78	4.49	4.39	4.39	4.62	4.69	4.56	4.59
2022	4.74	4.78	4.87	4.68	4.76	4.54	4.63	4.59	4.81	4.46	4.42	4.47	4.67	4.70	4.52	4.38
2023	4.66	4.68	4.77	4.59	4.66	4.43	4.42	4.42	4.68	4.39	4.37	4.31	4.50	4.55	4.26	4.30
平均	4.63	4.67	4.76	4.51	4.58	4.37	4.43	4.39	4.66	4.17	4.15	4.30	4.52	4.54	4.45	4.42

秋学期

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.57	4.61	4.74	4.47	4.58	4.38	4.42	4.45	4.68	4.09	4.17	4.28	4.51	4.41	—	—
2010	4.64	4.61	4.67	4.50	4.61	4.38	4.42	4.36	4.62	4.18	4.20	4.28	4.43	4.40	—	—
2011	4.64	4.67	4.74	4.46	4.58	4.44	4.40	4.39	4.66	4.06	4.04	4.27	4.55	4.40	—	—
2012	4.58	4.67	4.74	4.50	4.61	4.31	4.31	4.36	4.61	4.10	4.06	4.18	4.44	4.47	—	—
2013	4.56	4.62	4.66	4.43	4.55	4.28	4.31	4.30	4.62	4.12	4.12	4.19	4.40	4.43	—	—
2014	4.68	4.71	4.79	4.59	4.65	4.43	4.49	4.37	4.69	4.22	4.18	4.31	4.58	4.66	—	—
2015	4.63	4.71	4.74	4.54	4.65	4.47	4.44	4.37	4.69	4.16	4.17	4.35	4.53	4.57	—	—
2016	4.71	4.73	4.81	4.56	4.57	4.34	4.39	4.26	4.69	4.13	4.05	4.26	4.57	4.64	—	—
2017	4.74	4.78	4.87	4.58	4.67	4.53	4.44	4.40	4.74	4.20	4.15	4.41	4.66	4.70	—	—
2018	4.76	4.75	4.78	4.64	4.73	4.58	4.51	4.50	4.76	4.34	4.34	4.46	4.65	4.70	—	—
2019	4.70	4.73	4.83	4.59	4.69	4.51	4.52	4.51	4.76	4.36	4.34	4.48	4.65	4.70	—	—
2020	4.64	4.66	4.78	4.55	4.59	4.36	4.36	4.40	4.66	4.46	4.33	4.37	4.57	4.65	—	—
2021	4.64	4.69	4.77	4.54	4.62	4.43	4.44	4.39	4.70	4.35	4.30	4.34	4.53	4.60	4.47	4.45
2022	4.73	4.74	4.83	4.57	4.72	4.52	4.45	4.43	4.75	4.47	4.45	4.45	4.59	4.67	4.41	4.40
2023	4.63	4.71	4.78	4.59	4.70	4.49	4.48	4.49	4.78	4.54	4.43	4.42	4.59	4.63	4.43	4.53
平均	4.66	4.69	4.77	4.54	4.63	4.43	4.43	4.40	4.69	4.25	4.22	4.34	4.55	4.58	4.44	4.46

通年

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.59	4.65	4.75	4.48	4.57	4.39	4.40	4.42	4.67	4.08	4.13	4.29	4.52	4.38	—	—
2010	4.64	4.63	4.70	4.49	4.59	4.39	4.42	4.42	4.63	4.13	4.11	4.28	4.48	4.41	—	—
2011	4.62	4.65	4.75	4.46	4.62	4.39	4.38	4.38	4.65	4.12	4.11	4.29	4.53	4.39	—	—
2012	4.59	4.65	4.75	4.51	4.61	4.34	4.37	4.35	4.64	4.11	4.07	4.22	4.47	4.52	—	—
2013	4.56	4.60	4.67	4.42	4.51	4.28	4.33	4.27	4.60	4.10	4.11	4.20	4.41	4.45	—	—
2014	4.64	4.66	4.76	4.52	4.60	4.38	4.43	4.35	4.67	4.16	4.09	4.27	4.53	4.59	—	—
2015	4.61	4.67	4.72	4.51	4.60	4.44	4.41	4.38	4.68	4.13	4.07	4.31	4.52	4.55	—	—
2016	4.66	4.69	4.79	4.50	4.54	4.31	4.37	4.27	4.64	4.11	3.99	4.24	4.50	4.57	—	—
2017	4.68	4.71	4.80	4.51	4.57	4.37	4.40	4.30	4.67	4.12	4.06	4.30	4.54	4.60	—	—
2018	4.73	4.73	4.77	4.59	4.66	4.52	4.50	4.51	4.72	4.22	4.29	4.42	4.61	4.66	—	—
2019	4.68	4.73	4.84	4.59	4.66	4.51	4.52	4.49	4.74	4.27	4.30	4.43	4.63	4.69	—	—
2020	4.57	4.61	4.76	4.47	4.48	4.24	4.34	4.35	4.58	4.29	4.28	4.29	4.48	4.57	—	—
2021	4.69	4.73	4.80	4.59	4.66	4.44	4.51	4.46	4.73	4.41	4.34	4.36	4.57	4.64	4.51	4.51
2022	4.73	4.76	4.85	4.62	4.74	4.53	4.54	4.50	4.78	4.47	4.44	4.46	4.63	4.68	4.47	4.39
2023	4.64	4.69	4.78	4.59	4.68	4.46	4.45	4.46	4.74	4.48	4.40	4.37	4.55	4.60	4.36	4.44
平均	4.64	4.68	4.77	4.52	4.61	4.40	4.42	4.39	4.68	4.21	4.19	4.32	4.53	4.55	4.45	4.45

(2) 科目別学生満足度

表4-5は、コア科目、ベーシック科目、アドバンスト科目の科目群別に、設問12の「この授業を受けることで分析能力や批判力がついたと思いますか」、設問13の「この授業は全般的に満足のいくものでしたか」、設問14の「この授業は今後の学習にとって有意義なものでしたか」の科目ごとの平均（小数点第3位で四捨五入）を示したものである。各科目の授業の平均点については、履修者など、様々な事情も絡んでいる。個々の教員がそれぞれに適切に分析し、今後の授業に生かしていくことが求められるであろう。

特に設問13の総合満足度が4.0を下回る科目として、コア科目で3科目、ベーシック科目で2科目、そしてアドバンスト科目で12科目あり、それらの科目についての改善が求められる。

表4-5：科目ごとの回答の平均値

春学期・コア科目

科目名	クラス	履修者数	設問12	設問13	設問14
企業倫理	1	41	3.82	3.95	4.10
経営学	1	18	4.42	4.25	4.33
経営学	2	28	4.32	4.68	4.64
会計学	1	35	4.11	4.22	4.22
経済学	1	22	3.93	4.21	4.21
統計学	1	28	3.13	3.40	3.53
統計学	2	16	4.50	4.25	4.88
英語コミュニケーション	1	10	3.50	4.13	4.25
英語コミュニケーション	2	19	3.45	4.21	3.93

秋学期・コア科目

科目名	クラス	履修者数	設問12	設問13	設問14
企業倫理	2	45	3.92	4.34	4.47
経営学	3	15	4.55	4.82	4.82
会計学	2	28	3.87	4.07	4.13
経済学	2	7	4.00	4.33	4.17
統計学	3	40	4.35	4.20	4.30
英語コミュニケーション	3	27	3.53	4.44	4.16
英語コミュニケーション	4	22	3.42	3.77	4.00

春学期・ベーシック科目

科目名	クラス	履修者数	設問12	設問13	設問14
経営戦略	1	35	3.41	3.41	3.53
経営戦略A		16	4.38	4.83	4.92
ビジネスプランニング		20	4.44	4.38	4.63
人的資源管理	1	30	4.61	4.78	4.91
マーケティング・マネジメント	1	20	4.72	5.00	5.00
マーケティング・マネジメントA		16	4.22	4.33	4.44
コーポレート・ファイナンス基礎	1	23	4.75	4.85	4.85
財務・管理会計		16	4.31	4.46	4.69
テクノロジー・マネジメント	1	33	4.55	4.83	4.76
情報システム		14	4.40	5.00	4.60
ベンチャービジネス	1	19	4.05	4.42	4.58
公共経営論	1	14	4.29	4.71	4.86
行動科学		26	4.00	3.93	4.27
統計分析論		38	3.82	4.00	4.36
ゲーム理論	1	11	4.33	4.44	4.33
上級英語コミュニケーション	1	8	4.00	4.33	4.67
イノベティブ・シンキングA		19	4.54	4.46	4.77
コーチング論		16	4.14	4.29	4.29
店舗施設マネジメント		16	4.33	4.33	4.33

秋学期・ベーシック科目

科目名	クラス	履修者数	設問12	設問13	設問14
経営戦略	2	23	4.06	4.41	4.47
人的資源管理	2	52	3.97	4.19	4.35
マーケティング・マネジメント	2	11	4.86	5.00	5.00
コーポレート・ファイナンス基礎	2	12	4.00	4.80	4.40
財務諸表分析		33	4.10	4.19	4.29
テクノロジー・マネジメント	2	28	4.44	4.83	4.67
テクノロジー・マネジメントA		15	4.46	4.77	4.67
ベンチャービジネス	2	19	4.41	4.59	4.65
公共経営論	2	10	4.33	4.83	4.83
ゲーム理論	2	11	5.00	5.00	5.00
会社法		4	4.33	4.67	4.67
上級英語コミュニケーション	2	1	5.00	5.00	5.00
イノベティブ・シンキング		29	4.63	4.80	4.85
コンサルティングプロセス		16	4.50	4.50	4.50

春学期・アドバンスト科目

科目名	クラス	履修者数	設問12	設問13	設問14
管理会計		16	3.00	3.25	3.00
組織管理	1	39	4.07	4.30	4.37
人材マネジメント		28	4.90	4.90	4.95
地域振興		12	4.50	4.67	4.67
Business Negotiation		3	4.50	5.00	5.00
マーケティング・コミュニケーション	1	6	4.25	5.00	4.75
営業戦略		3	4.00	4.00	4.00
流通システム		5	4.50	4.50	4.75
消費者行動		10	3.86	4.00	3.86
リアルオプション		6	4.33	4.33	4.33
ソーシャル・マネジメント		21	4.38	4.38	4.63
リスクマネジメント		5	5.00	5.00	5.00
Special Topics in Finance		1	5.00	5.00	5.00
行動経済学		21	4.50	4.67	4.67
製品開発		9	4.67	4.67	4.67
標準化経営戦略		17	3.90	4.27	4.00
知的財産戦略		6	4.40	4.80	4.80
Product Innovation		2	5.00	5.00	5.00
ベンチャービジネス事例研究		19	4.50	4.83	4.89
ベンチャー型事業承継		5	3.67	4.67	4.67
中小企業経営革新		21	4.33	4.75	4.75
DX戦略・マーケティング		21	4.37	4.58	4.72
ベンチャーファイナンス		12	4.83	5.00	5.00
企業経営戦略特論A		8	4.00	4.25	4.50
企業経営戦略特論E		26	3.50	3.91	3.91
企業経営戦略特論I		35	4.43	4.71	4.71
課題研究基礎	1	10	5.00	5.00	5.00
課題研究基礎	2	9	4.67	5.00	5.00
課題研究基礎	3	5	4.40	4.80	4.80
Advanced Topics in Business G/企業経営戦略特論		4	5.00	5.00	5.00
課題研究	1	5	5.00	5.00	5.00
課題研究	3	5	4.80	4.80	4.80
課題研究	5	1	5.00	5.00	5.00
課題研究	7	2	5.00	5.00	5.00
課題研究	13	4	5.00	5.00	5.00
課題研究	17	2	4.50	5.00	5.00
課題研究	21	5	5.00	5.00	5.00
課題研究	27	3	5.00	5.00	5.00
課題研究	29	5	4.67	5.00	5.00
経営戦略策定実習I	1	8	4.88	4.88	4.88
経営戦略策定実習I	2	7	4.20	4.00	4.40
官民パートナーシップ論		6	4.33	4.67	5.00
公共政策		4	3.50	5.00	5.00
自治体経営		9	4.50	4.50	4.50
病院経営		6	2.25	1.75	2.50
病院経営事例研究		11	3.33	4.00	3.83
病院アドミニストレーション		11	3.20	3.40	3.40
地方大学経営		4	4.67	5.00	5.00
大学経営事例研究		4	4.50	5.00	5.00
大学組織管理		1	5.00	5.00	5.00
税務戦略		6	5.00	5.00	5.00
組織診断		16	4.54	4.69	4.77
人材マネジメントA		16	4.62	4.77	4.77
流通業総合演習		15	3.00	2.75	3.18

秋学期・アドバンスト科目

科目名	クラス	履修者数	設問12	設問13	設問14
組織行動		33	4.71	4.82	4.82
コーポレート・ファイナンス応用		7	4.57	4.86	4.86
組織管理	2	20	3.89	4.33	4.44
NPOマネジメント		21	3.69	4.23	4.54
事業システム戦略論		22	4.40	4.75	4.70
経営戦略事例研究		8	4.40	4.60	4.60
サービス・マーケティング		30	4.00	4.75	4.00
サービス・マネジメント		18	2.00	3.00	4.00
チャネル・マネジメント		3	5.00	5.00	5.00
ブランド・マネジメント		12	4.88	4.88	4.88
マーケティング・コミュニケーション	2	5	4.67	5.00	5.00
マーケティング戦略		9	5.00	5.00	5.00
ロジスティクス		2	5.00	5.00	5.00
国際マーケティング		3	5.00	5.00	5.00
マーケティング・リサーチ		9	4.50	5.00	5.00
証券投資		9	4.83	4.83	4.83
行動ファイナンス		10	4.57	4.57	4.57
マーケットデータ解析		11	4.10	4.20	4.40
イノベーション経営		27	4.27	4.50	4.45
生産システム		12	4.00	4.38	4.25
データマイニング		23	4.55	4.90	4.90
製品開発事例研究		3	5.00	5.00	5.00
システム・シンキング		20	4.36	4.86	4.86
システム・デザイン演習		20	4.86	4.93	4.93
中小企業経営・承継		18	4.28	4.50	4.39
M&A・再生・承継ストラクチャリング		16	4.06	4.38	4.19
企業倫理事例研究		10	4.67	4.67	4.67
知的財産権法		3	4.33	5.00	5.00
企業経営戦略特論B		25	4.93	4.93	4.93
企業経営戦略特論C		5	5.00	5.00	5.00
企業経営戦略特論F		30	4.80	4.80	4.80
課題研究基礎	4	14	4.80	4.80	4.90
課題研究基礎	5	3	4.33	4.67	4.67
課題研究基礎	6	10	5.00	5.00	5.00
課題研究基礎	7	2	4.50	5.00	5.00
課題研究基礎	8	7	4.25	4.50	4.75
課題研究基礎	9	14	4.46	4.77	4.85
企業経営戦略特論M		17	4.21	4.43	4.50
課題研究	4	5	5.00	5.00	5.00
課題研究	6	5	4.80	4.80	4.80
課題研究	8	2	5.00	5.00	5.00
課題研究	26	5	4.50	5.00	4.50
課題研究	28	2	4.50	4.50	4.50
課題研究	30	6	5.00	5.00	5.00
経営診断実習（流通業）	2	8	4.75	4.75	4.75
経営診断実習（製造業）	1	8	5.00	5.00	5.00
経営戦略策定実習II	1	8	4.63	4.75	4.63
経営戦略策定実習II	2	7	5.00	4.75	5.00
経営総合ソリューション実習	1	8	4.88	5.00	5.00
経営総合ソリューション実習	2	7	3.50	2.33	3.00
公共政策事例研究/公共経営事例研究		4	4.33	5.00	4.33
自治体会計		4	3.00	5.00	5.00
自治体ガバナンス		9	3.50	3.50	4.00
病院会計		8	4.00	3.50	3.50
病院組織管理		5	5.00	5.00	5.00
医療経済学		27	3.78	3.67	4.22
地域医療マネジメント		8	4.00	4.57	4.57
医療サービス・マネジメント		9	3.88	4.50	4.63
学校法人会計		2	5.00	4.50	5.00
大学経営		2	5.00	5.00	5.00
マーケティング戦略 (BioB) 営業マネジメント		15	3.33	2.83	3.33
生産マネジメント		15	4.00	3.83	4.17
生産イノベーション		15	4.25	4.00	4.25
DX戦略・オペレーション		15	4.40	4.20	4.60

B. 教員による担当科目自己評価

教員による担当科目自己評価は Web 上でのアンケート形式で実施されている。主な質問項目とその集計結果を以下に示す。

[主な質問項目]	
1.	授業はシラバスに示した主題や目的に沿って行いましたか。
2.	学生が発言したり議論したりすることに十分配慮を払いましたか。
3.	個々の学生の内容理解の水準を考慮しましたか。
4.	学生の質問に丁寧に答えましたか。
5.	この授業で学生の分析能力や批判力がついたと思いますか。
6.	この授業はあなたにとって満足のいくものでしたか。
7.	この授業は学生の仕事や資格の取得に役立つものと考えられますか。
8.	この科目を担当するにあたって力を入れたことは何ですか。(複数選択可)
9.	上記 1～8 の回答を踏まえて、この科目を担当するにあたって当初予定していた目標は達成されたと思いますか。

表 4-6 : 教員による担当科目自己評価集計結果

設問	開講期	そう思う	だいたいそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	該当なし	総計
1	春	35	30	1	0	0	0	66
1	夏	7	3	0	0	0	0	10
1	秋	46	27	2	0	0	0	75
1	冬	6	5	0	0	0	0	11
2	春	38	28	0	0	0	0	66
2	夏	7	3	0	0	0	0	10
2	秋	45	30	0	0	0	0	75
2	冬	6	5	0	0	0	0	11
3	春	23	40	2	0	0	1	66
3	夏	3	7	0	0	0	0	10
3	秋	36	34	5	0	0	0	75
3	冬	7	3	1	0	0	0	11
4	春	35	30	1	0	0	0	66
4	夏	6	4	0	0	0	0	10
4	秋	46	28	0	0	0	1	75
4	冬	7	3	1	0	0	0	11
5	春	28	34	2	1	0	1	66
5	夏	3	6	1	0	0	0	10
5	秋	34	35	6	0	0	0	75
5	冬	4	5	1	0	0	1	11
6	春	17	42	5	2	0	0	66
6	夏	6	3	1	0	0	0	10
6	秋	32	35	5	2	0	1	75
6	冬	4	6	1	0	0	0	11
7	春	27	31	4	2	1	1	66
7	夏	4	6	0	0	0	0	10
7	秋	35	34	5	1	0	0	75
7	冬	5	5	1	0	0	0	11
9	春	25	36	5	0	0	0	66
9	夏	3	7	0	0	0	0	10
9	秋	42	29	4	0	0	0	75
9	冬	4	6	1	0	0	0	11
合計		626	600	55	8	1	6	1,296

ほとんどの教員が、「そう思う」もしくは「だいたいそう思う」と回答しており、満足のいく講義を行えていることがわかる。

ただし、少数であるが、設問 5、設問 6、設問 7 に「あまりそう思わない」、設問 7 に「そう思わない」との回答もある。こうした回答がある理由や教員側の評価と学生の評価との関係などについて今後解析する必要が出てくるであろう。

5. Institute of Business and Accounting, International Management Course

(経営戦略専攻国際経営コース)

A. Course evaluation by students

In this section, we discuss results of the academic year (hereafter, AY) 2023 course evaluation survey for IMC courses. Results are shown for the spring semester, the fall semester, as well as for the whole year, in comparison with those for AY2021 and AY2022. Q14: “Course content were highly relevant and useful for your future career” is a question item unique to IMC course evaluation survey.

Table 5-1: Results of course evaluation by students for AY2023 (as compared to AY2021 and AY2022, scores averaged over all responses are rounded off to two decimal places)

	Academic Year	Q.1	Q.2	Q.3	Q.4	Q.5	Q.6	Q.7	Q.8	Q.9	Q.10	Q.11	Q.12	Q.13	Q.14	Q.16	Q.17
Spring semester	2021	4.77	4.79	4.81	4.71	4.75	4.73	4.64	4.73	4.73	4.67	4.60	4.69	4.71	4.66	4.58	4.70
	2022	4.65	4.70	4.74	4.56	4.68	4.65	4.60	4.66	4.65	4.58	4.52	4.57	4.58	4.61	4.56	4.55
	2023	4.71	4.74	4.78	4.63	4.69	4.57	4.58	4.66	4.61	4.63	4.64	4.61	4.61	4.58	4.44	4.55
Fall semester	2021	4.75	4.78	4.80	4.72	4.74	4.72	4.62	4.71	4.73	4.64	4.59	4.69	4.71	4.70	4.72	4.74
	2022	4.67	4.74	4.73	4.48	4.60	4.58	4.48	4.56	4.60	4.56	4.55	4.55	4.56	4.58	4.47	4.52
	2023	4.61	4.68	4.71	4.44	4.68	4.58	4.47	4.52	4.57	4.54	4.51	4.52	4.56	4.55	4.34	4.42
Whole year	2021	4.76	4.79	4.80	4.71	4.74	4.73	4.63	4.72	4.73	4.66	4.60	4.69	4.71	4.68	4.63	4.72
	2022	4.66	4.72	4.74	4.52	4.64	4.62	4.54	4.61	4.62	4.57	4.53	4.56	4.57	4.59	4.52	4.54
	2023	4.66	4.71	4.74	4.54	4.69	4.58	4.53	4.59	4.59	4.59	4.57	4.57	4.59	4.56	4.39	4.49

Overall evaluation by students is generally positive for AY2023. Averaged response scores for most of the question exceed 4.5 (with the only exception of Q16), while none is below 4.0. Results indicate that students are satisfied with IMC courses offered for AY2023.

However, such encouraging interpretation from a static perspective is betrayed if we compare results for AY2023 against those of AY2022, when averaged scores declined for all question items from the previous year. Evaluation by students for AY2023 are less favorable than AY2022 for some of the critical questions. Specifically, averaged scores are lower than those of AY2022 for eight out of 16 questions, while improvements for the rest are modest. These eight items showed lower scores in AY2022 (than those of AY2021) as well, indicating that students feel they suffer from increasingly poorer learning experience in these two years.

The lower averaged score for “Q14: Course content were highly relevant and useful for your future career” shows the consecutive drop in overall students’ satisfaction with their learning experience. Given that decrease in scores is particularly salient with some questions, there seems to be three underlying problems for the overall drop in students’ satisfaction.

The first is continuously deteriorating quality of interactions between students and instructors, as shown by lower scores (than AY2022) for both “Q6: Instructor's interest in whether students learned was high” and “Q9: The instructor answered students' questions clearly and sufficiently.” It may be due to the larger class size in recent few years. This was the period when COVID19 pandemic was over and drastic as well as historical depreciation of the Japanese currency was observed. Enrollment performance of IMC has benefited from these environmental changes, but the new challenges to effectively manage larger classes arise at the same time. It is expected that we will go beyond this adjustment period as quickly as possible.

Secondly, students express deepening dissatisfaction with overall design of the course as indicated by lower

averaged scores for “Q7: *The amount of work assigned was reasonable*” and “Q8: *The course was well organized in terms of contents and time allocation.*” For example, some group interview participants voiced their dissatisfaction with “*how quickly the evaluated material starts (evaluated presentations start first week, but students do not feel ready for evaluation).*” This could also be the consequence of increase in class size mentioned above because it is now more difficult for instructors to understand each student’s degree of learning progress in larger class than before.

The third source of students’ continuing dissatisfaction is online class, with averaged scores showing the largest drop (among eight items with poorer scores than AY2022) for “Q16: *You had no problem taking this course online*” and “Q17: *The instructor was proficient in teaching online.*” Group interview results clearly show students’ preference for an in-person format in that “*most felt it is difficult to concentrate in online classes, especially for long periods.*” Given that IMC students came all the way to Japan to have hands-on learning experiences in a Japanese educational institution, IMC courses, compulsory courses in particular, should be offered in an in-person format.

Below, we discuss students’ evaluation results by three layers of our courses, i.e., Core, Basic, and Advanced courses.

Table 5-2: Results of Core course evaluation by students for AY2023 (as compared to AY2021 and AY2022, scores averaged over all responses are rounded off to two decimal places)

	Academic Year	Q.1	Q.2	Q.3	Q.4	Q.5	Q.6	Q.7	Q.8	Q.9	Q.10	Q.11	Q.12	Q.13	Q.14	Q.16	Q.17
Spring semester	2021	4.84	4.90	4.88	4.86	4.92	4.86	4.78	4.86	4.88	4.76	4.57	4.71	4.82	4.76	4.67	4.88
	2022	4.49	4.51	4.61	4.37	4.51	4.50	4.42	4.51	4.52	4.39	4.38	4.38	4.35	4.45	4.29	4.38
	2023	4.55	4.63	4.68	4.46	4.50	4.40	4.63	4.58	4.40	4.43	4.57	4.28	4.38	4.35	4.03	4.29
Fall semester	2021	4.69	4.69	4.63	4.59	4.56	4.59	4.56	4.63	4.63	4.44	4.39	4.53	4.53	4.59	4.65	4.68
	2022	4.49	4.56	4.63	4.32	4.44	4.46	4.39	4.49	4.44	4.27	4.39	4.39	4.39	4.37	4.21	4.35
	2023	4.66	4.75	4.75	4.53	4.71	4.62	4.43	4.60	4.67	4.62	4.51	4.45	4.64	4.43	4.20	4.44
Whole year	2021	4.78	4.81	4.78	4.75	4.78	4.75	4.69	4.77	4.78	4.63	4.49	4.64	4.70	4.69	4.66	4.80
	2022	4.49	4.52	4.62	4.35	4.48	4.49	4.41	4.50	4.49	4.35	4.38	4.38	4.37	4.42	4.26	4.37
	2023	4.61	4.70	4.72	4.50	4.62	4.53	4.52	4.59	4.55	4.54	4.53	4.38	4.53	4.40	4.13	4.37

Table 5-3: Results of Basic course evaluation by students for AY2023 (as compared to AY2021 and AY2022, scores averaged over all responses are rounded off to two decimal places)

	Academic Year	Q.1	Q.2	Q.3	Q.4	Q.5	Q.6	Q.7	Q.8	Q.9	Q.10	Q.11	Q.12	Q.13	Q.14	Q.16	Q.17
Spring semester	2021	4.72	4.74	4.72	4.62	4.75	4.68	4.61	4.61	4.61	4.62	4.55	4.64	4.69	4.62	4.46	4.62
	2022	4.63	4.74	4.74	4.52	4.66	4.57	4.51	4.60	4.57	4.60	4.49	4.52	4.51	4.52	4.55	4.48
	2023	4.70	4.72	4.81	4.64	4.64	4.53	4.43	4.61	4.60	4.66	4.62	4.66	4.57	4.68	4.67	4.73
Fall semester	2021	4.74	4.81	4.80	4.76	4.69	4.69	4.50	4.61	4.71	4.64	4.55	4.60	4.62	4.67	4.75	4.73
	2022	4.66	4.79	4.75	4.43	4.67	4.54	4.35	4.46	4.60	4.55	4.49	4.51	4.49	4.58	4.34	4.38
	2023	4.69	4.71	4.78	4.50	4.78	4.58	4.36	4.51	4.67	4.56	4.64	4.60	4.60	4.61	4.35	4.47
Whole year	2021	4.73	4.77	4.75	4.68	4.73	4.69	4.56	4.61	4.65	4.63	4.55	4.62	4.66	4.64	4.57	4.66
	2022	4.65	4.77	4.75	4.47	4.67	4.55	4.41	4.52	4.59	4.57	4.49	4.51	4.50	4.56	4.43	4.43
	2023	4.70	4.72	4.79	4.57	4.71	4.55	4.39	4.56	4.63	4.61	4.63	4.63	4.59	4.65	4.52	4.61

Table 5-4: Results of Advanced course evaluation by students for AY2023 (as compared to AY2021 and AY2022, scores averaged over all responses are rounded off to two decimal places)

	Academic Year	Q.1	Q.2	Q.3	Q.4	Q.5	Q.6	Q.7	Q.8	Q.9	Q.10	Q.11	Q.12	Q.13	Q.14	Q.16	Q.17
Spring semester	2021	4.77	4.78	4.82	4.69	4.67	4.70	4.61	4.74	4.73	4.66	4.64	4.71	4.69	4.65	4.61	4.68
	2022	4.80	4.85	4.86	4.75	4.85	4.83	4.82	4.82	4.81	4.72	4.66	4.76	4.82	4.80	4.81	4.74
	2023	4.77	4.78	4.81	4.69	4.77	4.65	4.63	4.70	4.68	4.69	4.67	4.70	4.70	4.62	4.48	4.57
Fall semester	2021	4.78	4.79	4.88	4.75	4.85	4.79	4.71	4.81	4.79	4.73	4.70	4.81	4.84	4.77	4.73	4.78
	2022	4.76	4.77	4.74	4.62	4.60	4.68	4.66	4.70	4.67	4.70	4.69	4.68	4.71	4.68	4.73	4.73
	2023	4.54	4.63	4.65	4.36	4.63	4.57	4.55	4.48	4.47	4.49	4.44	4.53	4.51	4.58	4.40	4.38
Whole year	2021	4.77	4.79	4.84	4.71	4.74	4.73	4.65	4.77	4.76	4.69	4.66	4.75	4.74	4.69	4.65	4.72
	2022	4.78	4.81	4.81	4.69	4.73	4.76	4.74	4.76	4.74	4.71	4.67	4.72	4.77	4.74	4.78	4.73
	2023	4.67	4.71	4.73	4.54	4.71	4.61	4.59	4.60	4.59	4.60	4.57	4.62	4.61	4.60	4.45	4.49

As is shown in Table 5-2, Core courses suffered from the drop in Q14 and 16. Table 5-3 reveals that Basic courses show improvements in 13 out of 16 question items (with exception of Q2 and Q7). As for Advanced courses, all items show lower averaged scores than AY2022 (Table 5-4). Accordingly, the above mentioned drop in overall evaluation scores are largely attributed to poorer performance of Advanced and Core courses, which outweighs slight improvements in Basic courses. It is important to note that even those higher scores (as compared to AY2022) for Basic courses and Core courses are still lower than (or barely comparable to) those of AY2021. It used to be that students evaluate Advanced courses more favorably than Core or Basic courses. However, satisfaction with Advanced courses was comparable with that for Basic courses for AY2023. It is a serious problem because lower satisfaction with courses of highly advanced learning contents may negatively influence overall satisfaction with IMC program as whole.

Unfavorable evaluation for Advanced courses is confirmed by analysis of evaluation scores for each course (Tables 5-5 to 5-7). Counts of courses with the average score of less than 4.0 for Q13: “Overall, you are satisfied with the course, and recommend it to your fellow students” (as an indicator of overall satisfaction with the course) are two in Core courses, none in Basic courses, and four in Advanced courses, respectively. Group interview participants reinforce this observation with their comment that there were too many presentations assigned for some Advanced course, which made learning “disjointed.” Whether we can stop consecutive decline in students’ satisfaction depends on how effectively we could address the three problems discussed above toward AY2024.

Table 5-5: Results of Core course evaluation by students for AY2023 (shown for each course, scores averaged over all responses are rounded off to one decimal place)

Course	Class	Enrollment	Q12	Q13	Q14
English Communication	1	8	4.6	4.9	4.9
Management	1	16	4.8	4.8	4.7
Accounting for Decision Making	2	16	4.8	4.8	4.7
Accounting for Decision Making	1	6	4.5	4.8	4.8
English Communication	2	16	4.3	4.7	4.3
Business Ethics	2	15	4.4	4.7	4.3
Statistics	2	21	4.3	4.6	4.5
Business Ethics	1	17	4.5	4.6	4.2
Management	2	9	4.2	4.3	4.3
Business Economics		10	3.5	3.6	3.9
Statistics	1	12	3.3	3.3	3.3

Table 5-6: Results of Basic course evaluation by students for AY2023 (shown for each course, scores averaged over all responses are rounded off to one decimal place)

Course	Class	Enrollment	Q12	Q13	Q14
Marketing Strategy		6	5.0	5.0	5.0
Marketing Management	2	5	5.0	5.0	5.0
Cost and Management Accounting		5	5.0	5.0	5.0
International Management	1	10	5.0	5.0	4.5
Corporate Strategy		22	4.8	4.8	4.8
International Management	2	15	4.8	4.8	4.8
Financial Reporting and Analysis	1	4	4.5	4.8	4.8
Advanced English for Business Studies		5	4.7	4.7	4.7
Designing Organizational Systems		8	4.3	4.7	4.3
Corporate Finance	1	6	4.6	4.6	4.6
Principles of Finance	2	15	4.5	4.5	4.5
Corporate Finance	2	6	4.2	4.5	4.5
Financial Reporting and Analysis	2	11	4.5	4.5	4.3
Marketing Management	1	15	4.6	4.4	4.5
Advanced English for Business Practice		12	4.8	4.3	4.8
Principles of Finance	1	11	4.3	4.0	4.7
Leadership and Corporate Renewal		6	5.0	4.0	4.5

Table 5-7: Results of Advanced course evaluation by students for AY2023 (shown for each course, scores averaged over all responses are rounded off to one decimal place)

Course	Class	Enrollment	Q12	Q13	Q14
Marketing and Sustainability		8	5.0	5.0	5.0
International Development		6	5.0	5.0	5.0
Leadership Development : Mentoring for Business Succession		4	5.0	5.0	5.0
Sustainability Management & Accounting		1	5.0	5.0	5.0
Advanced Topics in Business E		10	5.0	5.0	5.0
Special Topics in Finance		3	5.0	5.0	5.0
Individual Research	9	4	5.0	5.0	5.0
Advanced Topics in Business D		4	5.0	5.0	5.0
Individual Research	5	2	5.0	5.0	5.0
Lasting Brands : Insights for Family-led Businesses		6	5.0	5.0	5.0
Advanced Topics in Business F		1	5.0	5.0	5.0
Individual Research	18	4	5.0	5.0	5.0
Individual Research	10	5	5.0	5.0	5.0
Individual Research	4	1	5.0	5.0	5.0
Financial Risk Management		2	5.0	5.0	5.0
SME Finance		7	4.3	5.0	5.0
International Finance		7	4.8	5.0	4.8
Capital Markets		4	4.8	5.0	4.8
Group Research Project	1	4	5.0	5.0	4.7
Individual Research	2	4	4.8	5.0	4.5
Group Research Project	6	4	4.8	5.0	4.3
Group Research Project	3	3	5.0	5.0	4.0
Group Research Project	4	8	4.8	4.8	4.5
International Accounting		9	4.8	4.8	4.8
Advanced Topics in Business H		9	5.0	4.8	4.8
Advanced Topics in Business I		4	5.0	4.8	5.0
Marketing Research		12	4.8	4.8	4.8
Group Research Project	2	4	4.8	4.8	4.8
Group Research Project	5	7	4.5	4.8	4.5
Product Innovation		15	4.7	4.7	4.5
Business Negotiation		11	4.6	4.7	4.7

Course	Class	Enrollment	Q12	Q13	Q14
Advanced Topics in Business G／企業経営戦略特論L		12	4.3	4.7	4.6
Information Management for Decision Making		4	5.0	4.7	4.7
Marketing Communication		10	4.8	4.7	4.7
Portfolio Management		6	4.7	4.7	4.5
Corporate Restructuring		4	4.3	4.7	4.3
Human Resource Management		20	4.8	4.6	4.8
Brand Management		12	4.8	4.5	4.7
Organizational Behavior		17	4.5	4.5	4.6
Cross-Cultural Management		25	4.6	4.5	4.5
Financial Institutions Management		6	4.5	4.5	4.5
Accounting Theory and Practice		2	4.5	4.5	4.5
New Global Venture Creation		12	4.4	4.4	4.7
International Marketing Practice		18	4.4	4.3	4.6
Advanced Topics in Business C		3	4.0	4.0	5.0
Management Information Systems		13	3.6	4.0	4.1
Individual Research	3	1	4.0	4.0	4.0
Individual Research	15	3	5.0	4.0	3.0
Asian Financial Market		5	4.2	3.8	4.0
Technology Management		11	4.2	3.6	4.0
International Economic Integration		4	3.5	3.5	4.0
Consumer Behavior		12	4.0	3.0	3.7

B. Self-evaluation by instructors

As for the self-evaluation by instructors, results show overwhelmingly favorable evaluation. For all questions, more than 90% instructors responded positively. No negative responses, including “Strongly disagree” and “Disagree”, are observed for all questions, except for 4% of respondents who “Disagree” to Q6: “Overall, you are satisfied with the course.” As far as instructors’ self-evaluation is concerned, no problems were identified, indicating that instructors feel all courses were offered in a satisfactory manner for AY2023.

More detailed distribution of responses is shown below. “The course met the objectives and topics described in the syllabus” (“Strongly agree”: 72%, “Agree”: 27%), “You encouraged students comment and discussion” (same as above: 81%, 16%), “Your interest in whether students learned was high” (same as above: 73%, 24%), “You answered students' questions clearly and sufficiently” (same as above: 72%, 20%), “Students have obtained analytical abilities and critical thinking from the course” (same as above: 60%, 24%), “Overall, you are satisfied with the course” (same as above: 65%, 27%), “Course content were highly relevant and useful for students' future career” (same as above: 67%, 27%), “Do you think your goals have been achieved? Please answer this question in terms of goals you set at the beginning of the course on the basis of the answers of the above 1 – 8 questions” (same as above: 62%, 27%).

Evaluation by students discussed above reveals consecutively declining satisfaction with IMC courses, while instructors express overwhelmingly positive evaluation of their own performance. The contrast is striking, and potentially be an indication of a serious problem that we do not properly attend to students’ concerns and dissatisfaction.

6. 会計専門職専攻

A. 学生による授業評価

(1) 概要

学生による授業評価アンケートは、【設問 1】から【設問 9】が「教員の授業内容と方法」について、【設問 10】と【設問 11】が「学生自身の取組み」について、【設問 12】から【設問 15】が「授業の満足度」について、そして【設問 16】と【設問 17】が「オンライン授業」について問うものである。

各設問の平均値（小数点第 2 位を四捨五入）は、次のとおりであった。

表 6-1：各設問の平均値

番号	設問文	2022年度春学期		2022年度秋学期		2023年度春学期		2023年度秋学期	
		1クォーター	2クォーター	3クォーター	4クォーター	1クォーター	2クォーター	3クォーター	4クォーター
1	授業内容は、シラバスで示された主題や目的に十分沿っていましたか。	4.7	4.9	4.9	4.9	4.8	4.8	4.8	4.8
2	教員は十分に準備をして授業に臨んでいましたか。	4.7	4.9	4.9	4.9	4.8	4.8	4.8	4.8
3	教員は、担当科目の授業を行うのに十分な専門知識を持っていましたか。	4.8	4.9	4.9	4.9	4.9	4.8	4.9	4.9
4	授業で指定された教科書や配布された資料は、学習の助けとなりましたか。	4.7	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8
5	教員は学生が発言したり議論をすることに十分な配慮を払いましたか。	4.5	4.7	4.7	4.8	4.6	4.7	4.8	4.7
6	教員は、個々の学生の内容理解の水準を考慮していましたか。	4.3	4.6	4.7	4.8	4.5	4.6	4.7	4.7
7	この授業で与えられる課題の量は適正なものでしたか。	4.6	4.7	4.7	4.8	4.7	4.7	4.7	4.7
8	授業の内容と時間配分は適正なものでしたか。	4.6	4.8	4.8	4.8	4.7	4.7	4.8	4.8
9	教員は学生の質問に丁寧に答えていましたか。	4.8	4.9	4.8	4.9	4.8	4.8	4.8	4.8
10	この授業を受けるに当たって予習や復習を積極的に行いましたか。	4.5	4.6	4.6	4.7	4.7	4.6	4.7	4.6
11	この授業を受けるに当たって担当教員が示した参考文献に当たりましたか。	4.6	4.6	4.8	4.7	4.6	4.6	4.7	4.6
12	この授業を受けることで分析能力や批判力がついたと思いますか。	4.5	4.6	4.6	4.7	4.5	4.7	4.7	4.7
13	*この授業は全般的に満足のいくものでしたか。	4.6	4.7	4.8	4.9	4.7	4.7	4.8	4.8
14	この授業は今後の学習にとって有意義なものでしたか。	4.7	4.8	4.8	4.9	4.7	4.7	4.8	4.8
15	この授業は仕事に役立ちそうですか。	4.6	4.7	4.7	4.8	4.7	4.7	4.8	4.8
16	【該当する場合にお答えください。】この授業はオンラインで受講することに問題はなかったか。	4.6	4.6	4.9	4.8	4.6	4.7	4.7	4.7
17	【該当する場合にお答えください。】教員はオンラインでの授業に習熟していたか。	4.5	4.7	4.9	4.8	4.6	4.8	4.7	4.7

コロナ禍により、2020年度と2021年度は原則としてオンライン授業であったが、2022年度から、対面授業が再開された。そして2023年度からは、原則として対面授業となり、特に理由が無い限り、学生も対面での参加が義務付けられた。ただし、主に平日夜の時間帯の授業において、教員がオンラインでも対面と同等の教育効果があると判断した一部の授業では、オンライン授業が行われている。

また、これまでのオンライン授業の経験を踏まえ、授業を Zoom で録画し、受講生が授業の復習用や、欠席した時のキャッチアップ用（ただし視聴しても出席扱いにはならない）に視聴できるようにしている。

対面授業再開 2 年目となる 2023 年度は、全体として 2022 年度よりやや低くなっている。

また第 1 クォーターでは、【設問 5】【設問 6】【設問 12】で評点が他のクォーターより低い傾向にある。これは、1 年目の学生にとっては初めての履修になるので、授業の難易度がよく分からず、自分の現在の知識水準を超える難易度の授業を履修してしまうことが原因と考えられる。この傾向は昨年度と同様であるが、学生の能力に適さない難易度の授業を履修することは、学生・教員双方にとって好ましいこ

とではないため、シラバスなどを通じて、受講にあたって求められる予備知識の水準を知らせているがそれを徹底させる必要があるだろう。

なお、オンライン授業2年目の2021年度から、【設問16】と【設問17】でオンライン授業に関する満足度について尋ねている。対面授業は再開しているが、やむを得ない理由によりオンラインで参加している学生、及び一部の授業ではオンライン授業を実施していることから、質問項目として引き続き設けている。こちらも、2022年度よりやや低くなっている。

(2) 全体評価～専攻平均値～

専攻平均値は、すべての設問の評点を平均したもの（小数点第2位で四捨五入）である。会計専門職専攻が開設された2005年度から現在までの推移は、次のとおりである。

表6-2：専攻平均値の推移

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
春学期	3.9	4.2	4.3	4.4	4.3	4.3
秋学期	4.2	4.3	4.5	4.5	4.5	4.4
	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
春学期	4.3	4.6	4.6	4.7	4.6	4.6
秋学期	4.4	4.6	4.7	4.7	4.6	4.6
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
春学期	4.6	4.5	4.6	4.6	4.7	4.7
秋学期	4.5	4.6	4.7	4.6	4.7	4.8
	2023年度					
春学期	4.7					
秋学期	4.8					

専攻平均値は、2007年度秋学期まで上昇し続けた後、2008年度から2011年度までは4.3から4.5という値を記録してきた。2012年度以降は、4.5以上を保ち続けている。このように近年は、総合的な評価としては高位での安定が図られているものと言ってよいであろう。また、2020年度はコロナ禍により急遽、授業がオンラインに変更されたが、全体としては概ね例年と同水準を維持する結果となった。さらに、オンライン授業2年目となった2021年度は、2020年度よりも改善し、春学期も秋学期も4.7と、かなり高い評価となった。さらに、対面授業が再開された2022年度は、春学期4.7、秋学期4.8と、なお一層高い評価となっている。そして2023年度は、2022年度と同じ評価となっている。

(3) 個別評価

① 教員の授業内容と方法 (【設問1】～【設問9】)

表6-3:【設問1】から【設問9】の平均値

	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9
(専攻全体)									
2017年度春学期	4.8	4.8	4.9	4.7	4.6	4.5	4.5	4.5	4.7
2017年度秋学期	4.7	4.7	4.8	4.6	4.5	4.4	4.4	4.5	4.7
2018年度春学期	4.6	4.7	4.7	4.6	4.4	4.4	4.5	4.5	4.6
2018年度秋学期	4.7	4.7	4.8	4.6	4.6	4.5	4.4	4.5	4.6
2019年度春学期	4.7	4.7	4.8	4.7	4.5	4.6	4.6	4.6	4.7
2019年度秋学期	4.8	4.7	4.8	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.7
2020年度春学期	4.8	4.8	4.9	4.7	4.5	4.3	4.4	4.5	4.6
2020年度秋学期	4.8	4.8	4.9	4.7	4.6	4.5	4.6	4.6	4.7
2021年度春学期	4.8	4.9	4.9	4.8	4.6	4.5	4.7	4.6	4.8
2021年度秋学期	4.8	4.8	4.9	4.8	4.6	4.6	4.7	4.7	4.8
2022年度春学期	4.8	4.8	4.9	4.8	4.6	4.5	4.7	4.7	4.8
2022年度秋学期	4.9	4.9	4.9	4.8	4.7	4.7	4.8	4.8	4.8
2023年度春学期	4.8	4.8	4.9	4.8	4.6	4.6	4.7	4.7	4.8
2023年度秋学期	4.8	4.8	4.9	4.8	4.7	4.7	4.7	4.8	4.8
(コア科目)									
2017年度春学期	4.8	4.8	4.9	4.6	4.5	4.4	4.4	4.4	4.6
2017年度秋学期	4.7	4.6	4.7	4.5	4.3	4.2	4.3	4.4	4.5
2018年度春学期	4.6	4.6	4.7	4.6	4.3	4.3	4.4	4.4	4.5
2018年度秋学期	4.6	4.6	4.7	4.6	4.4	4.3	4.3	4.4	4.5
2019年度春学期	4.7	4.7	4.8	4.6	4.5	4.5	4.6	4.6	4.7
2019年度秋学期	4.7	4.7	4.8	4.7	4.6	4.5	4.6	4.6	4.6
2020年度春学期	4.7	4.8	4.9	4.6	4.5	4.3	4.3	4.5	4.6
2020年度秋学期	4.7	4.7	4.8	4.7	4.5	4.4	4.4	4.4	4.7
2021年度春学期	4.8	4.9	5.0	4.8	4.6	4.4	4.7	4.7	4.8
2021年度秋学期	4.8	4.9	4.9	4.8	4.6	4.5	4.7	4.7	4.8
2022年度春学期	4.8	4.7	4.8	4.7	4.5	4.3	4.6	4.6	4.8
2022年度秋学期	4.9	4.8	4.9	4.8	4.5	4.5	4.6	4.7	4.7
2023年度春学期	4.8	4.8	4.9	4.8	4.6	4.5	4.6	4.7	4.7
2023年度秋学期	4.8	4.9	4.9	4.8	4.7	4.6	4.7	4.8	4.8
(ベーシック科目)									
2017年度春学期	4.9	4.9	5.0	4.8	4.8	4.6	4.7	4.7	4.9
2017年度秋学期	4.8	4.7	4.8	4.7	4.7	4.5	4.5	4.6	4.7
2018年度春学期	4.8	4.7	4.8	4.7	4.6	4.5	4.6	4.6	4.7
2018年度秋学期	4.8	4.8	4.8	4.7	4.6	4.6	4.5	4.6	4.7
2019年度春学期	4.8	4.7	4.8	4.8	4.6	4.7	4.6	4.7	4.7
2019年度秋学期	4.7	4.8	4.9	4.8	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7
2020年度春学期	4.7	4.7	4.8	4.6	4.3	4.3	4.4	4.5	4.5
2020年度秋学期	4.8	4.8	4.9	4.8	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7
2021年度春学期	4.7	4.8	4.9	4.7	4.6	4.5	4.6	4.6	4.8
2021年度秋学期	4.9	4.8	4.9	4.8	4.5	4.6	4.7	4.8	4.8
2022年度春学期	4.9	4.9	4.9	4.8	4.8	4.7	4.8	4.8	4.9
2022年度秋学期	4.9	4.9	4.9	4.8	4.8	4.8	4.8	4.9	4.9
2023年度春学期	4.8	4.8	4.8	4.8	4.7	4.6	4.7	4.7	4.8
2023年度秋学期	4.8	4.8	4.9	4.8	4.7	4.7	4.8	4.8	4.8
(アドバンスト科目)									
2017年度春学期	4.8	4.7	4.9	4.6	4.9	4.7	4.5	4.6	4.9
2017年度秋学期	4.8	4.8	4.9	4.8	4.7	4.6	4.5	4.5	4.8
2018年度春学期	4.5	4.6	4.7	4.6	4.7	4.5	4.4	4.5	4.7
2018年度秋学期	4.8	4.8	4.8	4.7	4.8	4.6	4.5	4.6	4.7
2019年度春学期	4.7	4.7	4.8	4.7	4.6	4.6	4.6	4.6	4.8
2019年度秋学期	4.8	4.8	4.9	4.8	4.8	4.7	4.7	4.7	4.9
2020年度春学期	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.8	4.8	4.7	4.9
2020年度秋学期	4.8	4.8	4.9	4.8	4.7	4.6	4.8	4.8	4.7
2021年度春学期	4.8	4.9	5.0	4.8	4.7	4.6	4.8	4.7	4.9
2021年度秋学期	4.8	4.8	4.9	4.8	4.8	4.6	4.7	4.7	4.8
2022年度春学期	4.9	5.0	5.0	5.0	4.9	4.8	4.9	4.9	5.0
2022年度秋学期	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	5.0
2023年度春学期	4.9	4.9	4.9	4.8	4.8	4.9	4.8	4.7	4.9
2023年度秋学期	4.8	4.9	4.9	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.9

2023年度は、2022年度とほぼ同じ結果となっている。オンライン授業2年目の2021年度から始めた取り組みとして、学生の利便性向上のため、Zoomの機能を利用して、授業の動画を録画し、受講生に公開することにした。これにより、学生は復習が容易になり、また欠席してしまった学生も、授業にキャ

ツチアップできるようになった。この取り組みは対面授業を再開して2年目の2023年度も継続しており、多くの学生が利用している。

② 学生自身の取組み（【設問10】・【設問11】）

「学生自身の取組み」を問う【設問10】と【設問11】は、昨年度と同じ評価となっている。

表6-4：【設問10】から【設問17】の平均値

	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
(専攻全体)							
2017年度春学期	4.3	4.1	4.4	4.6	4.7	—	—
2017年度秋学期	4.3	4.1	4.4	4.6	4.6	—	—
2018年度春学期	4.3	4.3	4.4	4.5	4.6	—	—
2018年度秋学期	4.4	4.3	4.5	4.6	4.7	—	—
2019年度春学期	4.5	4.3	4.5	4.6	4.7	—	—
2019年度秋学期	4.5	4.5	4.6	4.7	4.7	—	—
2020年度春学期	4.5	4.4	4.5	4.5	4.7	—	—
2020年度秋学期	4.5	4.5	4.5	4.6	4.7	—	—
2021年度春学期	4.6	4.6	4.6	4.7	4.8	4.8	4.7
2021年度秋学期	4.6	4.6	4.6	4.7	4.8	4.8	4.8
2022年度春学期	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.6	4.6
2022年度秋学期	4.6	4.7	4.7	4.8	4.8	4.8	4.9
2023年度春学期	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7	4.7	4.7
2023年度秋学期	4.7	4.6	4.7	4.8	4.8	4.7	4.7
(コア科目)							
2017年度春学期	4.2	4.0	4.3	4.6	4.7	—	—
2017年度秋学期	4.3	4.0	4.2	4.4	4.5	—	—
2018年度春学期	4.3	4.2	4.3	4.5	4.5	—	—
2018年度秋学期	4.3	4.1	4.4	4.5	4.5	—	—
2019年度春学期	4.5	4.3	4.4	4.6	4.7	—	—
2019年度秋学期	4.6	4.5	4.5	4.6	4.6	—	—
2020年度春学期	4.5	4.3	4.4	4.5	4.7	—	—
2020年度秋学期	4.5	4.5	4.4	4.5	4.6	—	—
2021年度春学期	4.6	4.6	4.6	4.7	4.8	4.7	4.7
2021年度秋学期	4.5	4.7	4.6	4.7	4.8	4.8	4.8
2022年度春学期	4.6	4.6	4.5	4.5	4.7	4.6	4.4
2022年度秋学期	4.5	4.7	4.5	4.7	4.7	4.8	4.8
2023年度春学期	4.6	4.6	4.6	4.6	4.7	4.5	4.6
2023年度秋学期	4.6	4.6	4.7	4.8	4.8	4.5	4.6
(ベーシック科目)							
2017年度春学期	4.4	4.3	4.5	4.8	4.8	—	—
2017年度秋学期	4.3	4.2	4.5	4.6	4.7	—	—
2018年度春学期	4.4	4.4	4.5	4.6	4.7	—	—
2018年度秋学期	4.4	4.3	4.6	4.7	4.7	—	—
2019年度春学期	4.5	4.4	4.6	4.7	4.7	—	—
2019年度秋学期	4.5	4.5	4.6	4.7	4.7	—	—
2020年度春学期	4.4	4.4	4.4	4.5	4.6	—	—
2020年度秋学期	4.4	4.3	4.5	4.7	4.8	—	—
2021年度春学期	4.6	4.6	4.6	4.7	4.8	4.8	4.5
2021年度秋学期	4.7	4.6	4.7	4.7	4.8	4.9	4.8
2022年度春学期	4.6	4.6	4.6	4.8	4.8	4.7	4.8
2022年度秋学期	4.6	4.7	4.7	4.9	4.9	4.8	4.9
2023年度春学期	4.6	4.7	4.6	4.7	4.8	4.7	4.7
2023年度秋学期	4.7	4.7	4.7	4.8	4.8	4.7	4.7
(アドバンスト科目)							
2017年度春学期	4.5	4.5	4.7	4.7	4.7	—	—
2017年度秋学期	4.1	4.0	4.5	4.7	4.7	—	—
2018年度春学期	4.5	4.4	4.4	4.5	4.6	—	—
2018年度秋学期	4.4	4.4	4.6	4.7	4.7	—	—
2019年度春学期	4.2	4.3	4.5	4.6	4.7	—	—
2019年度秋学期	4.6	4.5	4.7	4.8	4.8	—	—
2020年度春学期	4.7	4.9	4.7	4.8	4.8	—	—
2020年度秋学期	4.6	4.7	4.6	4.6	4.8	—	—
2021年度春学期	4.6	4.7	4.8	4.8	4.9	4.8	4.8
2021年度秋学期	4.6	4.4	4.7	4.8	4.8	4.9	4.8
2022年度春学期	4.7	4.8	4.8	4.9	4.9	4.8	4.8
2022年度秋学期	4.7	4.8	4.8	4.9	4.9	4.8	4.8
2023年度春学期	4.7	4.8	4.8	4.8	4.8	4.9	5.0
2023年度秋学期	4.7	4.7	4.7	4.8	4.8	4.8	4.8

③ 授業の満足度（【設問 12】～【設問 14】）

【設問 12】～【設問 14】の評価は、授業に対する評価の結論的指標となるものである。専攻全体で見ると、【設問 12】～【設問 14】の 2023 年度の評点は概ね良好な結果となっている。

科目の難易度による違いをみると、【設問 12】～【設問 14】では、例年通り、コア科目からアドバンス科目へと、難易度が上がるにつれて、評点も緩やかだが上昇している。

最後に、この授業評価アンケートは、これまでは対面授業の最終週の授業時間内で、マークシートで実施してきたため、最終週の授業に出席していた学生はほぼ全員、回答していた。しかし、コロナ禍によりオンライン授業へと切り替わった 2020 年度から、授業時間外に学生個人がオンラインで回答するように変更された。

このため、最終週の授業に出席していない学生も回答できるようになった反面、授業に出席している学生が必ずしも回答してくれるとは限らなくなってしまった。オンラインアンケート実施 1 年目の 2020 年度は、全体で回答率（＝回答者数／履修者数）は 70%であったが、2021 年度は 57%、2022 年度は 59%、そして 2023 年度は 64%であった。コロナ禍直前の 2019 年度は 87%であったので、オンラインアンケートの回答率は年々改善しているものの、いまだ十分とはいえない水準にとどまっている。

これは、授業時間外にオンラインアンケートを実施することになったことで、これまで回答していた学生が回答しなくなってしまったこと、何回も同じ内容の授業アンケートを回答させられることで、マンネリの状態となり、学生が回答することを止めてしまったこと、及び授業アンケートの重要性が学生に理解されていないこと、などが考えられる。

授業評価を行うにあたり、アンケートの回答率が低いことは好ましくないため、回答率を上げるための何らかの取り組みが必要である。授業評価アンケートの実施方法を再びマークシートに戻すことは現実的ではないので、2022 年度から、最終週の授業時間内で、オンラインアンケートの QR コードを示し、スマートフォンなどで回答してもらうように変更した。2023 年度も同様の取り組みをしているが、まだ教員全体でその取り組みが浸透しておらず、一部の授業では行われていなかった。2024 年度は、徹底して取り組みたい。

B. 教員による担当科目自己評価

2019 年度から、教員による担当科目自己評価はオンラインで実施されることになり、それに伴い、質問事項も大幅に変更された。設問は次のとおりである。

<選択回答>

<p>【設問】</p> <ol style="list-style-type: none">1. 授業はシラバスに示した主題や目的に沿って行いましたか。2. 学生が発言したり議論したりすることに十分配慮を払いましたか。3. 個々の学生の内容理解の水準を考慮しましたか。4. 学生の質問に丁寧に答えましたか。5. この授業で学生の分析能力や批判力がついたと思いますか。6. この授業はあなたにとって満足のいくものでしたか。7. この授業は学生の仕事や資格の取得に役立つものと考えられますか。8. この科目を担当するにあたって力を入れたことは何ですか。（複数選択可）9. 上記 1～8 の回答を踏まえて、この科目を担当するにあたって当初予定していた目標は達成されたと思いますか。10. 授業評価アンケートを授業中に学生に回答させましたか。
--

【設問 8】【設問 10】以外の回答の選択肢	【設問 8】の回答の選択肢
<ul style="list-style-type: none"> ● 5：そう思う ● 4：だいたいそう思う ● 3：どちらとも言えない ● 2：あまりそう思わない ● 1：そう思わない ● NA：該当しない <p style="text-align: right;">から一つを選択。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 学生の理論の理解を促す ● 学生の思考力の向上を図る ● 学生の学習への自発性を促す ● 学習内容の理解の定着を図る ● 学生間の相互学習を促す授業運営 ● 学習内容の実務への応用性 ● 理論と実践のバランスを考えた授業の構成 ● その他 <p style="text-align: right;">から該当するものを選択（複数選択可）。</p>
【設問 10】の回答の選択肢	
<ul style="list-style-type: none"> ● はい ● いいえ <p style="text-align: right;">から一つを選択。</p>	

<記述回答>

1. この科目において、実施してよかった点は何ですか。クラスで実施した小テストやレポートの内容、発問に対する学生の答え、学生の教員への質問などから総合してお答えください。
2. この科目において、改善・工夫をした方がよい点は何ですか。クラスで実施した小テストやレポートの内容、発問に対する学生の答え、学生の教員への質問などから総合してお答えください。

<選択回答>の回答数は次のとおりであった。

表 6－5：教員による担当科目自己評価（2023 年度）<選択回答>

（専攻全体）	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問9	（ベーシック科目）	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問9
5そう思う	101	65	51	94	52	60	81	68	5そう思う	38	21	16	36	23	26	32	28
4だいたいそう思う	36	45	68	34	65	65	49	61	4だいたいそう思う	13	20	30	14	23	21	17	21
3どちらとも言えない	0	8	17	1	13	9	6	7	3どちらとも言えない	0	0	5	0	1	2	1	2
2あまりそう思わない	0	2	0	1	0	2	0	0	2あまりそう思わない	0	1	0	0	0	1	0	0
1そう思わない	0	0	0	0	0	0	0	1	1そう思わない	0	0	0	0	0	0	0	0
NA該当しない	0	17	1	7	7	1	1	0	NA該当しない	0	9	0	1	4	1	1	0
合計	137	137	137	137	137	137	137	137	合計	51	51	51	51	51	51	51	51
平均値	4.7	4.4	4.3	4.7	4.3	4.3	4.6	4.4	平均値	4.7	4.5	4.2	4.7	4.5	4.4	4.6	4.5
昨年度平均値	4.8	4.3	4.1	4.5	4.1	4.2	4.4	4.4	昨年度平均値	4.7	4.3	4.0	4.3	4.1	4.4	4.5	4.5

（コア科目）	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問9	（アドバンスト科目）	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問9
5そう思う	35	12	12	25	4	13	21	15	5そう思う	28	32	23	33	25	21	28	25
4だいたいそう思う	10	18	20	13	31	27	21	26	4だいたいそう思う	13	7	18	7	11	17	11	14
3どちらとも言えない	0	6	12	1	7	5	3	4	3どちらとも言えない	0	2	0	0	5	2	2	1
2あまりそう思わない	0	1	0	0	0	0	0	0	2あまりそう思わない	0	0	0	1	0	1	0	0
1そう思わない	0	0	0	0	0	0	0	0	1そう思わない	0	0	0	0	0	0	0	1
NA該当しない	0	8	1	6	3	0	0	0	NA該当しない	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	45	45	45	45	45	45	45	45	合計	41	41	41	41	41	41	41	41
平均値	4.8	4.1	4.0	4.6	3.9	4.2	4.4	4.2	平均値	4.7	4.7	4.6	4.8	4.5	4.4	4.6	4.5
昨年度平均値	4.8	3.9	3.7	4.4	3.9	4.0	4.3	4.1	昨年度平均値	4.8	4.6	4.5	4.7	4.4	4.4	4.4	4.6

設問 8（選択割合）	専攻全体	コア科目	ベーシック科目	アドバンスト科目
学生の理論の理解を促す	75%	80%	84%	59%
学生の思考力の向上を図る	53%	36%	55%	68%
学生の学習への自発性を促す	56%	44%	57%	68%
学習内容の理解の定着を図る	69%	69%	84%	49%
学生間の相互学習を促す授業運営	18%	7%	22%	24%
学習内容の実務への応用性	42%	38%	41%	49%
理論と実践のバランスを考えた授業の構成	31%	20%	39%	34%
その他	1%	0%	2%	2%

（注）設問 8 は複数回答が可能のため、割合の合計は 100%にならない。

対面授業再開から 2 年目となる 2023 年度は、2022 年度と概ね変わらない結果となっている。

また、コロナ禍前は授業時間内にマークシートで回答してもらっていた授業評価アンケートを、授業時間外にオンラインで実施するようになったことで、回答率が低下している。回答率低下の改善を図る

ために、2023年度より、教員による担当科目自己評価において、授業評価アンケートの実施時期を教員に尋ねる設問（設問10「授業評価アンケートを授業中に学生に回答させましたか」）を追加した。2023年度の結果は、「はい」と回答した科目は全体の58%、「いいえ」と回答した科目は全体の42%であった。

授業中にアンケートを実施することはアンケート回収率を改善する有力な方法なため、教員には、授業中にアンケートを回答するよう促すことが望まれる。

<記述回答>では、【記述設問1】この科目において、実施してよかった点は何ですか、【記述設問2】この科目において、改善・工夫をした方がよい点は何ですか、を自由記述形式で回答してもらっている。自由記述形式なのは、教員の自由な意見を集めるためである。

各設問に対する回答の全体的な傾向を把握するために回答内容を分類し、これに基づいて分析を行っている。ただし、次のような制約、限界がある点に留意されたい。まず、分類にあたっては回答の文言よりもその趣旨に基づいているが、各設問の回答は自由記述形式であるため、その判断が主観的なものとならざるを得ない部分がある。回答が少ない項目は、表には含めていない。そして、単一の授業で複数の項目を回答している場合は、特に重要と思われる2、3程度の項目に限定して集計している。また複数回答している授業があるため、回答率の合計は100%にならない。

【記述設問1】担当科目において実施してよかった点
担当科目において実施してよかった点に対する回答内容の概要は、次の表のとおりである。

表6-6：担当科目において実施してよかった点に対する回答率

	コア科目	ベーシック科目	アドバンス科目
小テスト・中間テスト	33%	16%	2%
宿題・レポートなどの課題	36%	33%	7%
事前学習（予習）を促す取組み	9%	2%	-
要点を得た、もしくは詳細なレジュメ・配布資料の作成	7%	8%	2%
授業内容を（シラバス、LUNAや授業内アナウンスで）明確にしたこと	4%	8%	5%
基礎知識や重要論点の確認等を踏まえた丁寧な解説・指導	13%	24%	24%
取り扱うテーマの適切な選択	-	6%	10%
事例・実務に則した授業（ゲストスピーカーやケーススタディの工夫も含む）	18%	8%	22%
理論解説、実務解説、演習などのバランスの工夫	7%	18%	7%
テスト・課題に対する教員からのフィードバック	7%	4%	7%
学生による課題発表、プレゼンテーション、ディスカッション	2%	2%	24%
教員と学生間の質疑応答といった双方向な授業の実践	-	6%	12%
グループワーク、グループディスカッション、学生間の協働作業	-	8%	5%
その他	7%	8%	5%

例年、コア科目やベーシック科目では、「小テスト・中間テスト」が非常に多い。しかし、コロナ禍によるオンライン授業を行っていた2020・2021年度は、「小テスト・中間テスト」の回答が激減し、代わりに「宿題・レポートなどの課題」が（例年、この回答も多いのだが）増加した。

対面授業が再開された2022年度からは、再び「小テスト・中間テスト」が増加し、2023年度もコア科目で33%とかなり高い回答率であった。これにより、対面授業2年目となった2023年度では、授業の進め方は（授業を録画するなどの変化はあれ）ほぼほぼコロナ禍以前の状況に戻ったようである。

ただ、最近では「丁寧な解説・指導」を重視する授業が増えてきた。これは、授業に参加する学生の知

識にかなりの差があり、それに対応しようとした結果であると思われる。

【記述設問 2】担当科目について改善・工夫をした方がよい点

担当科目について改善・工夫をした方がよい点に対する回答内容の概要は、次の表のとおりである。

表 6-7 : 改善・工夫をした方がよい点に対する回答率

	コア科目	ベーシック科目	アドバンスト科目
レジュメ・テキスト・配布資料等の教材の改善	16%	10%	7%
講義（解説）・演習などの時間配分	2%	4%	2%
学生の能力・予備知識・理解度・モチベーションの差への対応	18%	16%	17%
双方向な授業の導入・増やす取組み、積極的な授業参加を促す取組み	2%	6%	2%
（予習・復習などの）学生による自発的学習の促進	2%	4%	5%
授業で扱うトピックの選定、及び質と量のバランス	4%	12%	12%
演習問題や課題の内容の改善	2%	6%	5%
小テストや課題などの実施、または量の改善	2%	2%	2%
もっと丁寧な解説・指導をする	20%	4%	-
留学生の語学能力の差への対応を図る	4%	12%	2%
ディスカッションやプレゼンテーションを実施する・増やす	7%	6%	10%
その他	9%	16%	15%
特になし	16%	16%	20%

ここ数年、入学者が増加傾向にあり、そのこと自体は好ましいことではあるが、それに比例するようにして「学生の能力・予備知識・理解度・モチベーションの差への対応」の回答が増加した。また、コア科目では「もっと丁寧な解説・指導をする」との回答も目立っている。【記述設問 1】（実施して良かった点）の回答において、「丁寧な解説・指導」を挙げる授業が多かったが、それでもまだ追い付いていないのが現実である。入試においてもう少し厳しく審査を行うか、または、入学前準備講座をもう少し充実させるべきかもしれない。

現在、入学前準備講座は、主にビジネススクールの学生向けに、財務会計の基礎、数学、エクセルなどを教えており、アカウンティングスクールの学生はあまり参加していない。しかし、近年、アカウンティングスクールでは外国人留学生が増えてきて、日本語で専門的な文章を書くことが苦手な学生も増えてきたことを考えれば、外国人留学生向けに、日本語で経営・会計の専門的な文章を書く練習をする入学前準備講座（外部業者の通信講座の利用も考えられる）を用意するのも一案かもしれない。

7. 今後の課題 (Issues to be resolved.)

A. 経営戦略専攻企業経営戦略コース

コロナ禍の2020年度は多くの質問において2019年度を下回る結果となったが、その後研究科として授業実施方法の見直しなどを行ったことが影響し、2021年度は回復に転じ、続く2022年4月からは、多くの授業が対面授業やハイフレックス型授業で実施されたことを受け、回復傾向にあった2021年度をさらに上回る結果となった。また、前述のように、授業の満足度に関する問13の平均値は、全科目群の通年で、過去最高を記録することができた。推測できる主な要因としては、対面、ハイフレックス、フルオンラインの3つの授業形式の中で、ハイフレックスの授業が最も多くなり、学生が対面かオンラインでの受講について、選択できる機会が増えたことが、可能性として考えられる。

2023年5月には、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが、分類上「5類」へ引き下げられるという社会の大きな変化に直面するなかで、大学における学習環境としては、コロナ禍以前の状況に戻ったと言える。しかしながら、依然として新型コロナウイルス感染症対策への取り組みが求められる職場環境に身を置く社会人学生も一定数存在する。また、学生の受講上の利便性の観点からも、ハイフレックス形式に対するニーズは高いと思われる。

そのような状況にある中で、2023年度のオンライン授業に対する質問（問16、問17）のスコアに関しては、問16は前年度からわずかながら下降、問17は上昇がみられた。このような結果になった原因の1つとして、授業担当者のハイフレックス授業におけるノウハウや機器操作のスキルの習熟度が高まったことが考えられる可能性がある。引き続き、これらの向上に引き続き努めることで、安定した授業運営に取り組んでいく必要があり、そのために、ハイフレックス授業へのサポートの継続や、授業改善・工夫の共有等のFD研修の実施などが課題となる。大阪梅田キャンパスでのPCサポートができる事務スタッフや教学補佐の配置は、可能な限り継続していくことが望まれる。また、FD活動を通じて、たとえば、教室や履修者の規模に応じた、対面受講者とオンライン受講者を組み合わせたクラス・ディスカッションの方法といった、ハイフレックスの授業の工夫のための様々なノウハウなどを、相対的に習熟した教員から非常勤講師も含めた教員全体にシェアするなどしていくことで、研究科全体としての授業の質の向上の実現につなげられるのではないかと考える。

B. Institute of Business and Accounting, International Management Course

（経営戦略専攻国際経営コース）

For AY2023, courses offered at IMC are favorably evaluated by both students and instructors. However, comparison against AY2022 (as well as AY2021) shows consecutive drop in evaluation scores by students, particularly in Core and Advanced courses. Avoiding further drop in evaluation scores should be the most critical challenge for AY2024.

Firstly, instructors should be encouraged to raise their awareness and concerns with students' evaluation of their courses. As discussed above, discrepancy between students' evaluation and self-evaluation by instructors is striking. While students keep showing that their learning experience grow poorer, instructors recognize that their performance is as satisfactory as before. Paying serious attention to this discrepancy should be the first step for our initiatives to improve IMC course quality by leveraging feedback from course evaluation surveys. One possible change we could consider is to delay the timing of self-evaluation survey by instructors until instructors are shared with results of course evaluation by students (rather than immediately after the quarter, when results of evaluation

by students are still unknown). With this change, instructors can leverage their self-evaluation as an opportunity to reflect their course improvement strategy. Group interview results should also be shared with instructors so that instructors can have more opportunities to be informed of real voice of students.

Secondly, instructors should be encouraged to consider redesigning their class operation with increasing number of participants in their mind. One important source of attractiveness of IMC courses has been rich and close interactions between instructors and students, enabled by relatively small class size. Largely due to the end of COVID19 pandemic and depreciation of yen, IMC benefits from increasingly larger enrollment of students for recent few years. The flip side of this increase in students intake is a new challenge to maintain frequent and rich interactions between instructors and students. The challenge is succinctly captured by group interview comments by some student who expressed their concerns that “*there were too many students in the finance class, which limited professor-to-student time, and caused presentations to take too much time.*” It obviously consumes more time to ensure productive interactions with each student. Given this additional time constraints, the class operation may have to be redesigned accordingly.

C. 会計専門職専攻

コロナ禍により突然のオンライン授業を余儀なくされた 2020 年度は、講義形式の授業が多いコア科目の授業評価に著しい悪影響をもたらした。しかし、オンライン授業 2 年目の 2021 年度では、教員がオンライン授業の方法に習熟したこともあり、コア科目も含めて授業評価は大きく持ち直し、全体として例年並みの評価となった。

そして 2022 年度から、当アカウンティングスクールでは、オンライン授業の有効性が認められる一部の授業を除き、基本的にすべての授業で対面授業に復帰し、2023 年度もそれは継続されている。また、コロナ禍の期間の経験を踏まえ、対面授業の場合でも、Zoom による授業の録画・学生への提供は継続されている。

このように、2022 年度からは、対面授業を基本としつつも、オンライン授業の利点もうまく活用しながら、学生にとっての利便性向上・教育効果の促進を図っている。

当アカウンティングスクールは、ここ数年は学生数も増加しているが、そのバックグラウンドは多様である。つまり、社会人経験のない学生、社会人学生、外国人留学生など、多様な学生が在籍しており、授業参加前の予備知識にかなりの差が見られる。この問題への対処は困難であり、教員も対応を試みていてそれなりに成果は出ているものの、決して十分とはいえず、引き続き教員による工夫が求められる。

また、近年は外国人留学生が増えており、特に日本語で大量に文章を記述しなければいけない授業科目では、日本語の語学力の差が顕著に出してしまうため、対応が必要である。例えば、外国人留学生向けの入学前準備講座を用意するのも一案であろう。

最後に、コロナ禍前は授業時間内にマークシートで回答してもらっていた授業評価アンケートを、授業時間外にオンラインで実施するようになったことで、回答率が低下した。回答率低下の改善を図るために、2023 年度より、教員による担当科目自己評価において、授業評価アンケートの実施時期を教員に尋ねる設問（設問 10「授業評価アンケートを授業中に学生に回答させましたか」）を追加したところ、「はい」の回答が 58%であった。授業中のアンケート実施が回答率の改善に有効なため、より積極的に学生に回答を促したい。

D. 総評

2023年5月には、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが、分類上「5類」へ引き下げられたことを受けて、授業の実施に関しては、3年ぶりにコロナ禍以前の状態に戻ったと言える。全授業録画及びその提供の方針は継続しており、録画データは出席できなかった場合の学習の補助及び復習に役立てられている。授業の実施形態については、経営戦略専攻企業経営戦略コース（中小企業診断士養成プログラムを除く）では、利便性の向上などを目的にしてハイフレックス授業やフルオンラインで、中小企業診断士養成プログラムは全授業が対面で実施されている。経営戦略専攻国際経営コースと会計専門職専攻では、対面と同様の教育効果があると授業担当者が判断する場合を除いて、対面での授業実施を原則としており、オンライン授業は減少してきている。

企業経営戦略コースでハイフレックス授業やフルオンライン授業や全授業録画は定着してきているが、新任の授業担当者への機器操作サポートは必須である。授業実施期間中は、授業時間帯に教務補佐・教学補佐を配置し、機材操作面で授業のサポートに当たらせている。導入当初のように全教員を対象としたFD研修会は行っていないが、新任あるいは不得手な授業担当者には、職員が各学期、初回授業の前に個別に支援を行っている。機器操作の習熟度は、授業の質に直結するため、この対応を引き続き行う必要があると考えている。

2023年度秋学期からLUNA（学習支援システム）が刷新され、オンライン上での教材配布やレポートの提出などの機能が充実するとともに、様々な項目で開発が継続されている。授業の双方向性と利便性の観点からLUNAの効果的な活用が望まれる。また、LUNAの仕様変更がどのように授業評価に影響するかも注視したい。

アンケート調査の結果は、概ね肯定的な結果となっているが、引き続き授業内容の充実を図っていく必要がある。幾つかの科目で評価が低下しているが、個々の科目に問題があるのか、その他の要因によるものなのかを分析の上、改善策が講じられることが望まれる。

アンケート回収をオンライン化したことにより、紙媒体で実施していた頃に比して回答率が低下している問題には最終回の授業中に実施したり、授業担当者及びポータルサイトによる働きかけを行うことを通じて、引き続き取り組んでいきたい。また、オンライン化により、学生の授業評価アンケート、教員の自己評価アンケートともに自由記述がデジタル化されたことを受け、これらのデータの分析にも着手する必要があるだろう。

いずれの専攻・コースも、社会人・外国人留学生を含め多様な学生を入学させており、教職員はその対応に多くの努力を払っている。教務補佐・教学補佐の配置も含めた授業サポートのさらなる充実、及び現在行っている施策の評価が望まれる。

以 上

関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科
内部質保証委員会
コンビナー 山本 昭二